

研修講座 2022

3月
確定版



岐阜県総合教育センター
Gifu Prefectural General Education Center



目次

ページ

1	研修コンセプト	1
2	研修講座2022の主な構成	1
3	令和4年度 岐阜県総合教育センター研修体系図	2
4	教員育成指標	3
5	教員育成指標に基づく研修構想	11
6	研修講座(選択～決定)	13
7	研修講座受講に当たって	14
8	研修申込み時の確認事項	17
9	研修講座一覧	18
10	おすすめ研修講座	30

- ～「園・校内研修」で活用できる～重点講話R4
- 小学校英語専科教員研修
- 発達障がい支援を学ぶ講座
- DXやICT活用に係る研修講座[セミナー]・[演習]
- 防災教育スペシャリスト養成研修
- スクールリーダー養成研修

11	参考資料	37
-----------	------	----

- 学校におけるOJT
- 自ら学ぶ教職員応援事業
- 清流の国ぎふ教師養成塾
- 図書・教育資料室案内
- 教職員のための教育支援相談室案内
- 岐阜県総合教育センター 見取図
- 岐阜県総合教育センター 駐車場



※ 新型コロナウイルス感染症対応等によって、開催日、開催方法等が変更になる場合があります。必ず事前に、総合教育センターHP内の研修申込システムに、個人のID・パスワードを用いてログインの上、開催要項にて内容を確認しましょう。(前日にも最終確認をしましょう。)



1 研修コンセプト

ぎふの人間像

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「**地域社会人**」



岐阜県が求める教師像

- 【**学び続ける向上心**】 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師
- 【**高い倫理観・使命感**】 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師
- 【**確かな専門性**】 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師



目指す姿

自ら学び続ける教職員



研修の基本方針

育成指標に基づき、教職員が自らキャリアアップを図る研修の充実
— 岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標の活用 —

研修に関する重点

- ① 選択講座の充実による**自己課題の明確化**と**主体性の向上**
- ② 今日的な教育課題に関する講座の充実による**対応力の向上**
- ③ 個別最適な学びと協働的な学びによる**実践的指導力の向上**



2 研修講座2022の主な構成

- 「岐阜県『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する指標」及び「岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）」に基づいた研修体系となっています。
- 教員一人一人がキャリアステージに応じ、自らの課題を明確にしながらか主体的・自律的に研修を受講できるようにしています。
- 今日的な教育課題への対応力を高めるため、喫緊の課題に関する講座の充実を図っています。
- 日々の実践につながる指導力の向上を図るため、ねらいや内容に適した個別最適な学びと協働的な学びによる研修を実施します。
- 同僚の教員とともにOJT（現場での職務を通じた研修）を通して、校内において日常的に学び合える環境づくりのための支援を続けています。



3 令和4年度 岐阜県総合教育センター研修体系図

方針と重点	【目指す姿】	自ら学び続ける教職員
	【研修の基本方針】	育成指標に基づき、教職員が自らキャリアアップを図る研修の充実 —岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標の活用—
	【研修に関する重点】	① 選択講座の充実による自己課題の明確化と主体性の向上 ② 今日的な教育課題に関する講座の充実による対応力の向上 ③ 個別最適な学びと協働的な学びによる実践的指導力の向上
岐阜県教員のキャリアステージ	1 5 10 20 35年目	
	基礎形成期 資質向上期 資質充実期 資質貢献期	
	意欲的に実践し、教職の基礎を固める。 組織の中核として、専門性を高め、推進力を発揮する。 活力ある組織運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。 組織管理や他の教員への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。	
基本研修	【講座番号】 1001-1109 経験年数や職務に応じて、必要な資質・能力の向上を図る。	<p>経年研修</p> <p>初任者研修 新規採用研修 新任学校司書研修 事務職員研修 養護教諭研修 常勤講師研修</p> <p>基礎形成研修 (2~5年目)</p> <p>6年目研修</p> <p>中堅教諭等 資質向上研修 (7~12年目)</p> <p>職務研修</p> <p>新任校長研修 新任副校長研修 新任教頭研修 新任部主事研修 新任主幹教諭研修 新任指導教諭研修 新任3主任研修</p>
	【講座番号】 1110-1128 学校悉皆で担当者対象の研修を行い、各学校の課題対応力の向上を図る。	<p>県立学校研修担当者研修・連絡協議会、県立学校ICT推進担当者研修 県立学校情報管理担当者研修、県立学校はじめての情報管理担当者研修 校務支援システム(e-教務)担当者研修 特別支援学級・言語通級指導教室・特別支援学校新任担当教員研修 特別支援学校介護員・介護専門職・寄宿舎指導員研修 市町村立小中学校等事務職員主任・主査・課長補佐研修 学校司書資質向上・エリアマネージャー研修(高) 事例を通して学びはじめ事案対応研修</p>
選択研修	【講座番号】 2000番台 教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。	2001-2004 重点講話 ※校内研修に活用でき、経験年数・校種など幅広い教員を対象とした今日的な教育課題に対する厳選した研修
		2011-2018 管理職向け選択研修(管理職アラカルト) ※ 管理する立場の職員を対象とした研修
		学習指導 2101-2182 学習指導、評価、教科等の専門性や指導力向上に関する研修
		生徒指導 2201-2219 生徒指導、教育相談、キャリア教育、特別活動等に関する研修
		経営・分掌 2301-2318 学校経営、学校組織マネジメント、人権教育、危機管理等に関する研修
		特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒への対応 2401-2414 特別支援教育、幼児児童生徒への支援に関する研修
		ICTや情報・教育データの利活用 2501-2520 DXによる教育の情報化の推進に関する研修 ICTを活用した授業デザインに関する研修 ICTを活用する際の実技に関する研修
		2601 育児休業からの復帰支援のための研修
連携研修	【講座番号】 3000番台 学校や個々の教職員の課題に応じて、資質・能力の向上を図る。	<p>3001-3003 スクールリーダー養成研修(岐阜大学教職大学院との連携)</p> <p>3004 清流の国ぎふ教師養成塾(採用前研修)</p> <p>3101-3109 県美術館・県図書館・県博物館等の文化施設での体験研修</p> <p>【派遣研修】国、県、民間、大学等派遣研修</p> <p>【派遣研修】国外大学プログラム</p>
	OJT ※ 校内研修の活性化や人材育成・労務管理・ハラスメント防止等の研修による支援を行います。 自ら学ぶ教職員応援事業 ※ 学び続けるモチベーションを維持できるような活動に対して助成を行います。	

4 教員育成指標

岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標

「校長(管理職)の指標」

項目	指標	求められる資質や能力等の具体例	関係法令等
経営ビジョン	○確かな教育理念と経営ビジョンをもち、保護者・地域に信頼される学校経営ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○憲法および教育基本法の理念に基づき、教育の目的の実現のために、組織の経営責任者として、使命感と責任感、子どもへの深い愛情をもって学校経営にあたることことができる。 ○国及び県(及び市町村)の教育振興基本計画や教育方針等を踏まえ、社会に求められる教育の変化を見据え、学校の教育目標の設定とその具現のための学校経営ビジョンを教職員や児童生徒に具体的に示すことができる。 ○学校運営協議会制度や学校評議員制度を活用し、学校運営に保護者や地域の声を反映させるとともに、学校経営計画や自校評価、学校関係者評価等の公表により学校の説明責任を果たし、保護者や地域と信頼関係を築くことができる。 ○常に自ら研究と修養に励み、管理職としての資質・能力を磨くとともに、社会の変化や国・県(及び市町村)の動向に注視しながら学校経営に必要な知識と見識を高め、組織の長としての自覚をもち、責任をもって学校経営に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領 ○教育振興基本計画 ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律
1 労務管理	○「子どものために」という教職員の熱意と労務管理を両立し、働きがいのある職場をつくり出すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○労働安全衛生法(労働基準法)に基づき、産業医との連携のもと、常に教職員の勤務時間の管理と心身の健康に配慮しながら、過重な業務や心理的な負荷のないよう、適切な労務管理を行うことができる。 ○「チーム学校」として効果的・効率的な業務遂行のための基本方針を明示し、業務の仕分け、行事の精選やスリム化、組織の見直しや再編等、教職員の働き方改革のための組織マネジメントができる。 ○職場環境を悪化させるハラスメントについて、法令に従い、雇用管理上の措置義務を果たし、ハラスメントを許さない姿勢を明確に示すとともに、職員間のコミュニケーションを大切にして、風通しの良い職場環境をつくることことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働基準法 ○労働安全衛生法 ○労働施策総合推進法 ○男女雇用機会均等法
2 人材育成 (組織マネジメント)	○職員に対する温かさをもち、キャリアデザインを共有して適切に指導するなど、人材を育成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○組織の長として人材育成の責務を自覚し、定期的な面談等を通して、教職員一人一人のキャリアステージに応じた課題を明確にしなが、公正かつ厳正な人事評価とキャリアアップに資する適切な指導・助言を行うことができる。 ○職員集団の年齢構成も踏まえ、「仕事が人を育てる」ことを意識しながら、個々の職員の能力や適性を十分に発揮させ、組織の対応力を向上させる校務分掌の編制や主任等の任命、研修派遣や人事異動等、組織マネジメントの長としての責任を果たすことができる。 ○主任や中堅教諭等の適切な人材をメンターとした OJT(現場内訓練)や校内研修を実施し、人材育成のための精神的なサポートができる組織を構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地方公務員法 ○教育公務員特例法
3 教育課程・学力向上 (カリキュラムマネジメント)	○学力向上に関する具体策の成果を常に検証し、教育課程の改善と授業についての的確な指導ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の趣旨を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の実現をめざし、新しい時代を生きる子どもたちに必要な力(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性」)を明確にした上で、教科横断的な視点に立って、児童生徒の心身の発達段階や特性及び学校や地域の実態を考慮しながら、適切な教育課程を編成することができる。 ○教育課程の実施においては、教職員が相互に連携しながら、学校の特色を生かしたより質の高い教育を実践できるよう指導・助言するとともに、PDCA サイクルを機能させ、組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図ることができる。 ○Society 5.0 の時代を見据え、ICT の積極的な活用により学習効果を高めるとともに、児童生徒1人1台端末の学習環境において、新しい技術や発想を取り入れた授業改善に取り組み、学びの個別最適化を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育法 ○学校教育法施行規則 ○学習指導要領 ○学校教育の情報化の推進に関する法律
4 生徒指導	○いじめや不登校等、生徒指導上の諸問題に対し、関係機関と連携し、リーダーシップを発揮して組織的に解決を図ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導上の諸問題に対して、自らリーダーシップを発揮して、保護者及び関係諸機関と連携を図りながら、未然防止・早期発見・早期対応に努めて問題の解決を図るとともに、指導の過程を通して生徒の成長と教職員の指導力の向上を図ることができる。 ○特にいじめの対応については、いじめ防止対策推進法、学校いじめ防止基本方針の趣旨を十分に踏まえ、法令等に則り、正確な事実の把握と情報の共有、保護者との連携、的確な判断と迅速で組織的な対応を自ら陣頭指揮し、解決後も継続的な見守りや支援を行うことができる。また、「特別の教科道徳」の導入の趣旨を踏まえ、考え議論する「道徳」への質的転換を図り、いじめの防止に積極的に関わろうとする児童生徒や教職員を育てることができる。 ○教職員と児童生徒の間で日常的な信頼関係が構築できるよう、生徒指導の状況や児童生徒の実態について十分に把握するとともに、児童生徒に関する情報共有が管理職まで確実になされ、校内組織が十分に機能できるよう、校内体制を整備することができる。 ○人権感覚を磨き、各種法令及び指針等に則り、少数者や特別な配慮を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育相談や支援を推進するための校内体制を整備することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ防止対策推進法 ○障害者差別解消法 ○義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律
5 服務規律・危機管理 (リスクマネジメント)	○服務規律やコンプライアンスをはじめ、危機管理に対する高い見識と行動力がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○服務の管理監督責任者として、常に教育公務員としての使命感や倫理観に関する自覚を促し、法令遵守と不祥事(体罰や児童生徒との不適切な関係等、信用失墜行為)の未然防止に努めるとともに、事案発生時には、法令に従い、関係諸機関と連携を図り、児童生徒の安心安全を最優先に迅速に対応することができる。 ○個人情報保護、公文書管理、公金管理等の最高責任者として、職員の危機管理意識を高め、関係法令を踏まえた適切な執行管理及び諸帳簿管理を徹底するとともに、問題発生時に法令に従い、速やかな報告及び事後対応等の適切な対処ができる。 ○学校保健安全法の趣旨を踏まえ、児童生徒の命を守り切ることを第一に、校舎内外の学校施設の修繕や安全管理を徹底するとともに、学校の立地する地域の実情や児童生徒の実態を踏まえ、実効性のある防災計画・避難計画及び危機管理マニュアルを策定することができる。 ○学校事故や感染症等の発生に対し、常に最悪の事態を想定しながら、保護者や関係諸機関(警察、消防、病院、教育委員会、司法、児童相談所、保健所等)とも連携し、応急処置や避難行動等、対応しうる最善策を判断し、迅速な指示を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育法 ○地方公務員法 ○教育公務員特例法 ○教育職員免許法 ○学校保健安全法
6 家庭・地域との連携	○家庭や地域と積極的に連携し、人的資源の活用等により、ふるさとへの誇りと愛着を培う魅力ある学校経営ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の健全な育成を願う保護者や地域社会と、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を共有しながら、学校の教育活動について情報の共有と連携を図り、地域活性化の核としての学校の役割を果たすことができる。 ○地域の産業・経済界、行政、その他関係諸機関と連携し、地域の魅力ある人材や教育資源を活用し、地域の課題解決に協働して取り組むなど、「社会に開かれた教育課程」の実現と「ふるさと教育」の推進に取り組む、魅力ある学校づくりを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育基本法 ○社会教育法 ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって
夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に保育実践や集団づくりに取り組み、教職の基礎を固める。	園の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある園運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	園の管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
保育	保育構想	幼稚園教育要領における、健康、人間関係、環境、言葉、表現の各領域に関するねらい、内容、内容の取扱い等	幼稚園教育要領のねらいや内容、内容の取扱い等を踏まえ、幼児一人一人への願いを明確にした指導計画を作成することができる。	小学校への円滑な接続を見通して、発達課題を踏まえて指導計画を作成することができる。	自園の課題、幼稚園教育要領の趣旨を踏まえた指導計画を作成し、他の教員に広めていくことができる。	幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ自園の課題の解決に努め、日常的な保育の改善に向けて研究体制を整えることができる。
	保育実践	幼稚園教育要領における、健康、人間関係、環境、言葉、表現の各領域に関するねらい、内容、内容の取扱い等について、総合的・一体的に扱うことを理解している。	各領域のねらい・内容を含めた総合的・一体的な保育となるよう環境の構成を適切に行うことができる。	各領域のねらいとその特性を理解し、幼児一人一人が健やかに成長するよう指導・援助を行うことができる。	各領域等を総合的・一体的に扱う保育のモデルを示すなど、保育実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員に広めていくことができる。	自園の課題を踏まえ人格形成の基礎を培う実践について、他の教員に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		指導計画に基づいて幼児一人一人の様子を見届け、長期及び短期の指導に生かすことができる。	保育の評価を適切に行い、継続的な保育の改善を行うとともに、各領域の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	自園の保育力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員に対して、保育実践の評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
教育環境の創造	幼児理解	幼児と共に活動する楽しさや喜びを経験し、幼児理解の重要性について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、幼児一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	幼児の言動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に幼児の言動を見届け、価値付ける指導を行ったり、幼児の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生活の展開	環境構成の意味、保育の展開等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	問題等を早期に発見し、関係職員に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に幼児の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、幼児の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	幼児に対する指導を組織的・計画的に実践できるように、体制を整えるとともに問題の未然防止の取組を実践することができる。
	発達の課題	クラス・園・家庭・地域が一体となって、幼児を育てることを理解している。	幼児一人一人の発達の課題に応じた基本的な生活習慣の指導を行うことができる。	その年齢の発達の課題に応じた生活が展開できるなど、自己有用感が育まれるような指導を行うことができる。	幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の重点となって実践することができる。	幼児の多様な発達の課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
経営・分掌	学級・学年・園経営	教員の職務内容や園組織等について理解している。	担当する分掌の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	担当する分掌に軸足を置きながら、園全体も意識して、課題を改善しながら分掌を果たすことができる。	自園の分掌全般に関して理解を深め、組織を生かしながら各分掌を推進することができる。	自園の教育目標実現に向けて、園の組織間の連絡・調整を行うとともに若手教員の育成をすることができる。
	連携・協働	危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
	危機管理		幼児の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	自園を取り巻く環境について、家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応	特別な配慮や支援を必要とする幼児について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの保育に生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員との連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した保育や校務の推進及び幼児に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	保育や校務等にICTを活用でき、幼児の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための保育実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した保育実践等を行い、校務の効率化及び幼児の学びや生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	自園のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



・自分が得意な内容、領域を磨いている。
・他の人がもっているものよさに気づき、取り入れてみる。

・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

・若手や同僚に共感する。
・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想		学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校9年間の系統性、児童の発達段階を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
	授業実践	小学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	免許教科を主軸とした得意分野をもち、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	各教科の特性を理解し、児童一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		評価計画に沿って児童一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、教科の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
生徒指導	児童理解	児童と共に活動する楽しさや喜びを経験し、児童理解の重要性について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、児童一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	児童の行動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて児童一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に児童の行動を見届け、価値付ける指導を行ったり、児童の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生徒指導	教育相談、生徒指導、キャリア教育等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	問題行動等を早期に発見し、学年職員等に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に児童の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、児童の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	児童に対する指導を組織的・計画的に実践できるように体制を整えるとともに、問題の未然防止の取組を実践することができる。
	キャリア教育		発達の段階に応じた基本的な生活習慣の指導を行うことができる。	学年の発達の段階に応じた役割をもたせる等、自己有用感をもたせる指導を行うことができる。	学校のキャリア発達課題を明確にし、その方策を提案し、学校の基点となって実践することができる。	学校のキャリア発達課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
経営・分掌	学年・学校経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。	担当する校務の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	学校全体を見渡し、課題を改善しながら校務を行うことができる。	校務全般に関して理解を深め、組織を生かしながら校務を推進することができる。	学校の教育目標・現に向けて、校内組織間の連絡・調整を行うことができる。
	連携・協働	危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
	危機管理		児童の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	学校を取り巻く環境について家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別配慮や支援を必要とする児童への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を活かした活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



・自分が得意な内容、領域を磨いている。
・他の人がもっているもののよさに気づき、取り入れてみる。

・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

・若手や同僚に共感する。
・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で一貫した人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

スタートライン		【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
		意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校9年間の系統性、生徒の実態を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができると期待される。
	授業実践	中学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	教科の専門性を踏まえて、生徒一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善	評価計画に沿って生徒一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、自己の専門性向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
生徒指導	生徒理解	進んで声をかけ、共に活動をする中で、生徒一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	生徒の行動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて生徒一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に生徒の行動を見届け、価値付ける指導を行ったり、生徒の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生徒指導	問題行動等を早期に発見し、学年職員等に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に生徒の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、生徒の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	生徒に対する指導を組織的・計画的に実践できるように体制を整え、問題の未然防止の取組を実践することができる。
	キャリア教育	生徒一人一人が目標をもち、計画的に取り組むことができるよう指導を行うことができる。	生徒が見通しをもったり振り返りして学ぶよう指導を行うなど、教育課程全体を通じてキャリア教育を推進することができる。	社会や職業との関連をより意識して生き方を考えられるよう、地域との連携を図りながら指導することができる。	キャリア教育の視点を踏まえた生き方指導のモデルを実践したり、他の教員等が適切に指導できるように、助言を行ったりすることができる。
経営・分掌	学年・学校経営	担当する校務の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	学校全体を見渡し、課題を改善しながら校務を行うことができる。	校務全般に関して理解を深め、組織を生かしながら校務を推進することができる。	学校の教育目標・現に向けて、校内組織間の連絡・調整を行うことができる。
	連携・協働	他の教員等のよさに学び、相談・協力することができる。また、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら、対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
	危機管理	生徒の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切に適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	学校を取り巻く環境について家庭・地域・関係機関との協力体制を整え、適切に対応することができる。
特別配慮や支援を必要とする生徒への対応	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



・自分が得意な内容、領域を磨いている。
・他の人が持っているもののよさに気づき、取り入れてみる。

・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

・若手や同僚に共感する。
・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践やHR経営に取り組み、教職の基礎を固める。	専門性と指導力を高め、実践力を磨く。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	教科の専門性を身に付け、高等学校に関する学習指導要領の内容、評価の観点・評価方法を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、生徒の実態に応じた指導と評価の計画を作成することができる。	生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえた指導と評価の計画を作成することができる。	中長期的な視点で、指導と評価の計画を作成することができるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標や学習指導要領の改訂等を踏まえ、教科横断的な視点で指導と評価の計画を立案し、推進することができる。
	授業実践		生徒の実態と指導と評価の計画を踏まえ、身に付けさせたい力を明確にした授業を行うことができる。	生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業を行うことができる。	各教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業の実践について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	生徒の自ら学ぶ姿勢を育成する授業を行うための研修計画を立案し、推進することができる。
	評価改善		観点に基づいた評価規準を設けるとともに、自らの授業の方法や内容を客観的に評価し、改善することができる。	生徒の実態やニーズに応じた授業評価の方法や観点を工夫し、継続的な授業改善ができる。	観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善を行う体制を整え、推進することができる。
生徒指導	生徒理解	生徒理解の重要性について理解している。	生徒個々の資質能力や背景にある状況や、観察や資料等から客観的かつ共感的に把握することができる。	生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。	生徒の実態の多面的な把握と分析の方法について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	個々の生徒に対応する人的・物的に環境を整え、学校全体で生徒理解ができる組織づくりを推進することができる。
	生徒指導		生徒の声を共感的に聴くとともに、時と場を捉えて適切な指導を行うことができる。	個や集団の実態や状況に応じて、生徒の自己指導能力の育成を促すための継続的な働きかけを行うことができる。	生徒の自己指導能力の育成を促す指導や今日的な課題への対応について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	生徒の自己指導能力を高めるような教育相談・生徒指導を学校全体で行うための計画・組織を立案し、推進することができる。
	キャリア教育		生徒自身が望ましい職業観や自立について考え、自らの生き方を選択しようとする態度を育成する指導を行うことができる。	生徒自身が自らの生き方を多様な可能性を基に考える指導を行うとともに、生徒の実態やニーズに応じた進路指導を行うことができる。	生徒自身が自らの生き方を多様な価値観を基に考える学習活動となるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標を実現するための系統的なキャリア計画を立案し、それを実施する組織づくりを推進することができる。
経営・分掌	HR・学校等経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。	担当した校務を責任をもって行うことができる。	校務の課題についての建設的な改善策を他の教員等に提案し、組織的に働きかけながら実践することができる。	中長期的な視点で校務の改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標を具現するために、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
	連携・協働		迅速な報告・連絡を心がけ、生徒の成長のために保護者や他の教員等と力を合わせて対応することができる。	周囲の人材と専門性を活用し合うなど、生徒の成長のための効果的な指導をチームとして行うことができる。	チームとしての指導と対応の視点や対策について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	家庭や地域、外部機関等との連携について、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
	危機管理		生徒の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	事故等の未然防止と選択すべき行動について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	事故等の未然防止や緊急時に、場面に応じて迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
特別配慮や支援を必要とする生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりを生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員との連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの利活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・高い倫理観と使命感の基、探究心をもち、謙虚に学ぶ。

・自ら課題をもって、自律的に学び、実践につなげる。

・自己研鑽に励み、周囲の学び意欲を高める。

・学び続ける姿を示し、学校の組織力の向上に寄与する。



教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、「地域社会の一員」として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

スタートライン		【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
		意欲的授業実践や学級・HR経営に取り組み、教職の基礎を固める。	実践を積み上げ、専門性を高め、学校の推進力となる。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点から個別の指導計画等を作成し、他の教員等から指導・助言を受けながら授業を計画することができる。	幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点から、実態を的確に把握して個別の指導計画等を作成し、それに沿った授業を計画することができる。	個別の指導計画等を作成する際に、関係機関の情報等の客観的観点を取り入れるとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学習指導要領の改定等を踏まえた個別の指導計画等の作成がされるように研修を行う等、校内体制を整備し、推進することができる。
	授業実践	特別支援教育及び教科に関する学習指導要領の内容、評価の観点・評価方法を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	個別の指導計画等に基づくと共に、活動時の状況に応じて指導方法・体制等を変更する等、他の教員等と協働して、幼児児童生徒への効果的な指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の状態等に配慮して適切な指導・援助を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学習指導要領改訂等を踏まえた適切な指導・援助ができるように、校内の研究体制を整備し、推進することができる。
	評価改善	幼児児童生徒への指導・援助について、健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点に基づいて授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。	幼児児童生徒への指導・援助について、自身の授業実践とともに、チームとしての授業実践について適切な授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。	幼児児童生徒の実態と社会や地域から求められるニーズに対応するという視点に立って授業評価や授業改善を行うとともに、他の教職員等に指導・助言を行うことができる。	授業の評価改善のために必要な観点、評価・指導の方法等について研究し、普遍的授業改善を行う校内体制を整備し、推進することができる。
生徒指導	幼児・児童・生徒理解	観察、保護者との情報交換、他の教職員からの情報、過去の資料等から幼児児童生徒の実態を的確に把握することができる。	幼児児童生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。	幼児児童生徒の多面的な把握と分析に必要な情報収集を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校全体で幼児児童生徒の理解を深めるために、環境整備と組織づくりを推進することができる。
	生徒指導	幼児児童生徒の実態を踏まえて、一人一人のよさが発揮できるように指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の発揮させたいよさと具現したい姿を具体的に想定し、その実現のための中・長期的なプランを想定した指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒一人一人のよさの発揮と具現したい姿の実現のために、適切な指導・援助を行ったり保護者等と連携をはかたりするとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	幼児児童生徒への適切な指導・援助が行われるように、他の教員等や保護者・関係機関等との連携体制を整備し、推進することができる。
	キャリア教育	個別の教育支援計画等に基づき、社会自立を目指して、幼児児童生徒への指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の実態やニーズに基づいた社会自立を目指し、個別の教育支援計画等を活用し、保護者、関係機関と連携し、他の教員等と協働して指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の社会自立を目標とした指導・援助を行う際に、他の教員等に個別の教育支援計画等や、関係機関から収集した情報等の効果的な活用について、指導・助言を行うことができる。	適切な個別の教育支援計画等の作成と改善がなされるように、他の教員等や保護者、関係機関等と連携できる組織づくりを推進することができる。
経営・分掌	学級・HR・学年・部・学校経営	個別の教育支援計画等を立案し、それに基づき、学級（HR）全体を見渡した年間指導計画等を作成し、計画に沿った学級経営を行うことができる。	学校・部等全体を見通した年間指導計画等を作成し、他の教員等と協働して、学級（HR）・学年経営を行うことができる。	学年・部・学校全体の学級（HR）経営が適切に行われるように、部・学校の特色を踏まえて他の教員等に指導・助言を行うことができる。	特色ある学校経営を推進するために、校内の体制を整備し、「安全に安心して過ごせる環境」「自立に向けて個性を生かす体制」を整備し推進することができる。
	連携・協働	幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等や保護者等と協力し、迅速な報告連絡を心がけて業務を行うことができる。	幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等強みを生かしながら、関係等と協力を保つことを意識しながら、業務を行うことができる。	幼児児童生徒へ、保護者等と協力・連携しつつ、チームとしての指導・援助にあたることに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の使命を達成するために、学校内外の関係機関等との連携体制を構築するとともに、校内の業務が円滑に遂行される体制を整える。
	危機管理	幼児児童生徒の安全や個人情報の重要性を理解するとともに常に心がけ、「報告・連絡・相談」を大切に適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	学校の危機管理について、周囲と連携し、迅速に対応するとともに、より迅速に対応できるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	事故等の未然防止や緊急時に、適切かつ迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び幼児児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、幼児児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び幼児児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

<p>【基礎形成期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目の前の幼児児童生徒の適切な実態把握や指導・援助の方法を、謙虚に学ぶ。 	<p>【資質向上期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級（HR）・学年の幼児児童生徒に対する、チームでの適切な実態把握や指導・援助の方法を自ら学び、チームに伝える。 	<p>【資質充実期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が得意とする分野の知識・技能を深めつつ、校内の教員等への有効的な伝え方を工夫する。 	<p>【資質貢献期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が深めてきている知識・技能、学びの手段等を、学校内外の多くの人に対して伝え、役立てる。
---	--	---	---

- 8 -

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】	
保健管理	応急処置	保健管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	意欲的に保健管理や健康指導に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、学校及び研究団体等においてリーダーシップを発揮する。	学校管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行うとともに、後進の育成に尽力する。	
	心身の健康管理		保健管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	健康診断や管理指導表等に基づく児童生徒等の健康管理や、感染症の予防対策ができる。	児童生徒等の適切な健康管理や、感染症の効果的な予防対策ができる。	最新の知見を収集し、児童生徒等の健康管理や感染症の予防対策に生かすことができる。	児童生徒等の心身の健康管理や感染症の予防対策について、指導的立場を果たすことができる。
	学校環境の管理		学校環境衛生基準に基づく環境衛生検査が適切に実施でき、改善に努める。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	学校環境の管理について、指導的立場を果たすことができる。
健康指導	児童生徒理解	学校環境の管理について、指導的立場を果たすことができる。	児童生徒の健康状況を把握し、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境や背景を理解し、児童生徒の理解を図ることができる。	児童生徒の自己肯定感を高めることを意図した指導を行うことができる。	児童生徒理解について、指導的立場を果たすことができる。	
	保健教育		指導計画に基づく保健教育等を行うことができる。	担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育等を行うことができる。	ヘルスプロモーションの理念に基づき、自己の健康をつくろうとする指導を行うことができる。	保健教育について、指導的立場を果たすことができる。	
	健康相談活動		健康相談の基本プロセスを理解し、健康相談が実施できる。	日常の児童生徒の健康状態を把握し、個々の健康課題に応じた相談活動が実施できる。	心身の健康課題を総合的にとらえ、保護者や校内組織と連携した健康相談活動が実施できる。	コンプライアンス意識を高くもち、健康相談活動について、指導的立場を果たすことができる。	
経営・分掌	保健室管理	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	学校保健活動のセンター的役割を理解して、保健室経営ができる。	学校保健活動のセンター的役割が機能した保健室経営ができる。	学校の教育目標の具現を意図した保健室経営ができる。	保健室経営について、指導的立場を果たすことができる。	
	保健組織活動		分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいる。	保健組織活動の意義を理解し、各種会議等に意欲的に参画できる。	保健組織活動の意義を理解し、保健組織活動を企画・運営することができる。	校区の学校や地域の関係機関、団体と連携した保健組織活動を、企画・運営することができる。	保健組織活動について、指導的立場を果たすことができる。
	危機管理		管理職、保護者、医療機関等への報告・連絡・相談を遅滞なく行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。	未然防止や対応のノウハウ等について、事例をもとに指導的立場を果たすことができる。	
ICTや情報・教育データの活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員との連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。		
	ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



・自分が得意な内容、領域を磨いている。
・他の人がもっているものよさに気づき、取り入れてみる。

・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

・若手や同僚に共感する。
・自分の知恵や経験を活かす場がある。



教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
給食管理	学校給食に関する計画		意欲的に給食管理や食に関する指導に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、学校及び研究団体等においてリーダーシップを発揮する。	学校管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行うとともに、後進の育成に尽力する。
	栄養管理	給食管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	献立や教科との関連を図った食に関する全体計画の立案・実践ができる。	学校の食に関する課題を明確にした食に関する全体計画の立案・実践ができる。	学校や地域の実態を把握し、校内外との連携を図った食に関する全体計画の立案・実践・評価ができる。	学校の教育目標の具現を視点に持ち、食に関する全体計画の立案・実践をマネジメントすることができる。
	衛生管理		食事摂取基準や学校給食摂取基準を理解し、食物アレルギー等、適切に栄養管理を行うことができる。	食品構成や、地場産物の活用などを考慮した年間献立計画をもとにして、適切な献立作成等を工夫することができる。	学校給食摂取基準を、児童生徒や地域の実情等に十分配慮し、弾力的に適用するよう工夫・改善に努める。	実態把握に基づき、食に関する指導と給食管理の一体化を図った献立作成の工夫・改善に努める。
食に関する指導	児童生徒理解		食品衛生法と学校給食衛生管理基準を理解し、関係諸帳簿の整備など適切に衛生管理ができる。	食中毒や異物混入の未然防止について調理従事員や児童生徒へ適切な指導を行い、徹底を図ることができる。	作業動線図や作業工程表の充実を図るとともに、衛生管理体制の強化を図ることができる。	学校給食衛生管理基準に基づき、評価と改善を行い、調理場において徹底することができる。
	教育指導	児童生徒の体と心の状態を把握しようとする努力をしている。	児童生徒の食生活の状況を把握するとともに、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境を理解し、児童生徒の理解を的確に行うことができる。	教職員の共通理解を図る方途を工夫し、児童生徒の食習慣の状況を的確に把握することができる。	児童生徒の食習慣の状況に応じて、食に関する自己管理能力を高めるための指導助言ができる。
	個別的な相談指導		食に関する年間指導計画をもとに、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	給食献立と各教科等との関連を図り、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導をすることができる。	児童生徒の実態を考慮し、生きた教材として学校給食の活用を図った食に関する指導の立案ができる。	児童生徒が食に関する課題に主体的に向き合い、実践に結び付く食に関する指導を行うことができる。
経営・分掌	調理場との連携・調整		食に関する年間指導計画をもとに、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	疾病やスポーツ栄養に関する基礎的な知識を習得し、食に関する相談指導ができる。	保護者や校内組織と連携した個別的な相談指導体制を整備し、活用することができる。	コンプライアンス意識をもち、学級担任等と連携を密にした積極的な個別的な相談活動が実施できる。
	給食組織活動	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	設備や食品の管理など、担当する校務の役割と、食に関する指導の両立をすることができる。	受配校や近隣の学校の実態を把握し、調理場を活用した食に関する指導や情報発信等ができる。	地域全体の食育を充実させる観点から、関係機関と連携した委員会の整備と活性化ができる。	給食管理と食に関する指導を一体化した組織的な運営等に参画し、工夫改善に取り組むことができる。
	危機管理		食に関する年間指導計画をもとに、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	管理職、学級担任、保護者、学校関係機関・団体等への、報告・連絡・相談を確実に行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの利活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



・自分が得意な内容、領域を磨いている。
・他の人がもっているものよさに気づき、取り入れてみる。

・自分の知恵や経験が他人に有用であることに気付く。
・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

・若手や同僚に共感する。
・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



基本研修・選択研修・連携研修を受講

中堅教諭等資質向上研修

学校（園）運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教員として、学習指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。

幼認		小中義高特		養護・栄養	
園外研修	園内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
8日	10日	7日	18日	6日	5日

6年目研修

学校の中核教員としての学習指導を中心とした実践的指導力の向上を図る。

小中義		高特		養護・栄養	
校外研修	校内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
3日	3日	高:3日 特:2日	3日	3日	1日

基礎形成研修

自己課題を明確にし、必要な講座を選択し、校内で実践することで、教員としての基礎を固める。

小中義		高特		養護・栄養	
2、3年目	4、5年目	2、3年目		「養護教諭・栄養教諭の実践から学ぶ」を希望により受講	
3講座以上	2講座以上	3講座以上			

初任者研修・新規採用研修

教育公務員としての使命感、幅広い知見の獲得、教員としての基礎的素養を学ぶ。

幼認		小中義高特		養護・栄養	
園外研修	園内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
8日	10日	小中義 14日 高特 15日	150時間	養護:11日 栄養:6日	養護:15日 栄養:13日

資質充実期

資質向上期

基礎形成期

自ら学び続ける教職員





基本研修・選択研修・連携研修を受講

新任校長研修

講座番号 1101 (小・中・義)	悉皆研修 2日				集合
	オンライン			集合	
講座番号 1102 (高・特)	オンライン	オンライン	オンデマンド	集合	集合
	悉皆研修 3日				

新任副校長研修

講座番号 1103 (高・特)	悉皆研修 0.5日	
	集合	

新任教頭研修

講座番号 1104 (小・中・義)	悉皆研修 1.5日			選択研修 1日	
	オンライン	オンライン	オンライン	指定研修※から 2又は1講座選択	
講座番号 1105 (高・特)	集合	集合	集合	指定研修※から 2又は1講座選択	
	悉皆研修 2.5日				選択研修 1日

新任部主事研修

講座番号 1106 (特)	悉皆研修 2日		
	集合	集合	

新任主幹教諭研修

講座番号 1107 (小・中・義)	悉皆研修 2日		
	オンライン	スクールリーダー 養成研修A	

新任指導教諭研修

講座番号 1108 (小・中・義)	悉皆研修 1日	選択研修 1日	
	オンライン	指定研修※から1講座選択 (多文化共生・特別支援教育)	

新任3主任研修

講座番号 1109 (高・特)	悉皆研修 1日	職務に応じた研修 0.5日			
	オンライン	2013 (教務) 指定研修※	2017 (生徒指導) 指定研修※	2209 (進路指導) 指定研修※	

自ら学び続ける教職員の育成

資質貢献期

6 研修講座（選択～決定）

1 『教員のキャリアステージ』から「自己課題」を見付けましょう。

■ 自分の校種のキャリアステージ(①)を目安にし、資質(②)の観点から、自己課題を見付けましょう。

教員育成指標

①	スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】	
		意欲的に授業実践や学習経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	注力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う	
②	学習指導	授業構想 学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校9年間の系統性、児童の発達段階を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。	
		授業実践 小学校に関する学習指導要領、評価規程・評価方法を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	免許教科を主軸とした得意分野をもち、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	各教科の特性を理解し、児童一人一人に確実な基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を出す教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
		評価改善 評価計画に沿って児童一人一人の学習状況を把握し、次第や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、教科の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。	

必要に応じて管理職と相談しましょう。

2 『研修講座一覧』から「自己課題に応じた研修」を選択しましょう。

■ 「研修講座一覧」から自己課題に応じた研修講座を選択し、期日や開催方法等を確認しましょう。「研修講座一覧」は総合教育センターHPからダウンロードできます。

<https://www.gifu-net.ed.jp/ggrec/kensyuukouza2022/>

※ ダウンロードした「研修講座一覧」の講座名称をクリックすると、開催要項も閲覧できます。



研修講座一覧

講座番号	講座名	対象	研修種別	研修形式	研修期間	グループ	期日	開催方法
2119	授業改善講座(小・義務 生活) ～実践から学ぶ! 気付きの質を高める生活科指導のすすめ～	小	基礎	実践	1日	—	10/14(金)PM	◆ — —
2120	岐阜県「教科学習システム」に関する研修 ～楽しく学んで学力アップ・データを活用して指導力アップ～	小	基礎	実践	1日	G1 G2	G1: 6/13(月)PM G2: 8/22(月)PM	◆ ◆ —
2121	遊びを活用した体力向上指導者講習会 ～楽しい体育の極意～	小	基礎	実践	1日	—	11/25(金)PM	◆ — —

3 管理職と「自己課題」と「自己課題に応じた研修」について面談しましょう。

「教員のキャリアステージ」と「研修講座一覧」を使って、自己課題や選択した研修について、管理職と面談しましょう。

4 自分で研修申込みシステムにログインし、研修講座を申し込みましょう。

岐阜県総合教育センターHP の研修申込システムログイン画面へ

<https://flex2.gifu-net.ed.jp/system/users/login>

※個人のパスワードをお忘れの方は、こちらまで

⇒ヘルプサポートデスク(TEL:058-277-3921・電子メール:support@gifu-net.ed.jp)



1 研修申込期間

- **基本研修** ※講座番号1000番台
令和4年4月7日(木)～4月15日(金)17時頃締切
- **選択研修** ※講座番号2000～3000番台
(1次申込み) 令和4年4月7日(木)～4月15日(金)17時頃締切
(2次申込み) 令和4年5月9日(月)～定員充足又は実施日2週間前まで
- 新型コロナウイルス感染症対応によっては、上記期間が変更になります。
岐阜県総合教育センターHP で最新情報をご確認ください。
⇒ <https://www.gifu-net.ed.jp/ggec>
- 定員超過の場合は、1次申込締切後、2週間以内に抽選します。
※ 抽選結果は、総合教育センターHP 内の研修申込システムから個人のID・パスワードを用いてログインし、表の「状況」欄の表示内容をご確認ください。
当選…「申込確定受講中」 落選…「選外通知」
- 2次申込みは、1次申込みで定員に満たない場合に実施します。

2 重要事項【集合・オンライン研修共通】

- ① **開催要項の確認**
必ず事前に、総合教育センターHP 内の研修申込システムに、個人のID・パスワードを用いてログインし、期日、内容等を確認しましょう。
- ② **研修修了**
研修終了後の2つのアンケート(研修終了後アンケート・還元度アンケート)の回答で研修修了です。
- ③ **急な変更やお知らせ**
総合教育センターHP のトップ画面にて掲載します。
⇒ <https://www.gifu-net.ed.jp/ggec>



④ 欠席・遅刻の対応

事前に分かっている場合	管理職が教員研修申込システムより入力
急な欠席・遅刻等	① 教育研修課に電話連絡(管理職を通じて) ② その後、管理職が教員研修申込システムより欠席・遅刻等の入力

3

重要事項【集合研修】

① 駐車場

総合教育センター敷地内の研修受講者用駐車スペースには限りがあります。

満車の場合は臨時駐車場の利用等にご協力をお願いします。
(P43又は岐阜県総合教育センターHP参照)



② 気象警報発表時の対応（オンライン研修も同様）

開始3時間前までに 研修会場の市町村の気象警報が全て 解除 された場合	研修実施
開始3時間前に 研修会場の市町村に気象警報が 発表 されている場合	研修中止
参加者の学校や園等がある市町村に気象警報が発表されている場合	所属長の指導を受け、出欠を判断

4

重要事項【オンライン研修】

受講前

【確認・準備】

- 受講場所
 - ※ 一人で落ち着いて受講できる場所、Wi-Fiの近くなど通信状況が良い場所
- 開催要項
 - ・ 研修資料のダウンロード・印刷
 - ・ 研修講座の流れや提出物の有無、動画のURLの確認
 - ※ Web会議のURLを絶対に間違えないことや、他人に教えないことに留意
 - ・ 接続に不具合があった場合の対応を確認

受講当日

- 受講前は、管理職に受講開始の連絡
- 研修開始時、又は接続の不具合が30分続くようであれば、管理職に報告

【重要】

- ★ 研修の録画は、原則として禁止です。
 - ・ 映像の著作権は、作成者に帰属します。
 - ・ ダウンロードした資料や映像を自組織のウェブサイトにアップロードしたり複製したりすることは、著作権の侵害となります。営利目的でなくても著作権の侵害となります。
- ★ カメラを使用する研修では、背景に不適切なものが映らないように配慮が必要です。



受講後

- 受講後は、管理職に研修内容を報告
- 研修申込システムの「研修終了後アンケート」を速やかに回答
 - ⇒ 「還元度アンケート」は2月末までに回答
- レポート等の提出があれば、期日までに担当者に送付

※ 下記5、6については、令和4年3月15日時点の対応とします。
今後、本記載内容に変更が必要な場合は、別途文書で通知します。

5 新型コロナウイルス感染症への対応【研修講座の開催等について】

令和4年度の研修講座の開催については、今後、国の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置、並びに県独自の非常事態宣言等の発表又は解除に当たり、下記のとおりとします。

(1) 岐阜県が、国の緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置の対象区域に指定されている場合

- 会場に集合して行う研修講座は、オンライン研修等への変更もしくは延期による開催、又は中止とする。

(2) (1)に該当しないが、県独自の非常事態宣言等が発表されている場合

- 研修会場や該当地域の感染状況等に応じて開催又は中止とする。
- 日程や受講方法等を変更する場合は、開催要項で通知する。

(3) (1)及び(2)に該当しない場合【全て解除された場合】

- 当初の開催要項どおりに実施する。
- ただし、研修会場や該当地域の感染状況等に応じて、日程や受講方法を変更する場合は、開催要項で通知する。



6 集合研修における新型コロナウイルス感染症への対応【受講者】

研修会場に到着前

- 所属先で使用している「健康チェックカード」等を基に、検温や体調の自己点検を必ず行う。
- 体調が万全でない場合(同居家族等も含む)は、無理して講座を受講せず、所属先の管理職と相談の上、欠席の手続きをする。

事前に分かっている場合 ➡ 管理職が教員研修申込システムより入力
急な欠席や遅刻等

- ➡ ① 教育研修課に電話連絡(管理職を通じて)
- ② その後、管理職が教員研修申込システムより欠席や遅刻等の入力

研修会場に到着後

- 会場施設のルールに従って、感染症予防の対応を行い、マスク着用、手洗い(手指消毒)を徹底する。
- 講座担当者の指示で、所属で使用している「健康チェックカード」を提示する。
- 受付にて、検温する。

研修中

- 適宜換気を行っているため、各自で服装を工夫する。
 - 人と人との距離は1m~2m程度以上保つ等、ソーシャルディスタンスを意識する。
 - 常時マスクを着用する。
 - 休憩時には、廊下やトイレで他の受講者と密集しない。
 - 終日の研修等で、研修会場の施設内で昼食をとる場合は、黙食を基本とし、マスク着用の有無にかかわらず、会話を控える。
- ※ 研修途中で体調がすぐれないとき(「健康チェックカード」に該当する症状がある場合)には、速やかに講座担当者へ報告してください。
受講者の体調を最優先し、途中退出をしていただきます。

No.	Questions	Answers
1	ログインIDが分からない	<ul style="list-style-type: none"> ■ p番号 (p+5桁の数字)、pメール (学校間総合ネットの職員用メールアドレス) をもっている → p番号がログインID ■ pメールアドレスを、もっていない → 新規登録 (管理職に相談し、所属先で登録)
2	パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> ■ p番号 (p+5桁の数字) の方 → 学校間総合ネットで利用しているパスワードパスワードが分からない → 下記の連絡先に問い合わせる <div style="background-color: #002060; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【パスワード問合せ先】 学校間総合ネット ヘルプサポートデスク Tel : 058-277-3921 e-mail : support@gifu-net.ed.jp</p>  </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ p番号以外 (lp+5桁の数字) の方 → 管理職に確認する
3	申込みの間違い	<ul style="list-style-type: none"> ■ 校長承認前の場合 → 管理職に「取消」を依頼する ■ 校長承認後の場合 → 教育研修課 研修企画係に問い合わせる
4	開催要項や申込ボタンをクリックしても画面が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブラウザーを、「Internet Explorer」から「Chrome」か「Edge」に変更する
5	研修会場の間違い	<ul style="list-style-type: none"> ■ ①すぐに管理職に連絡 ②学校から講座担当者まで連絡をするよう依頼する <p>※ 研修講座日の前日に、必ず再度開催要項で、日時・場所・開催方法等を確認する</p>
6	ダウンロードや印刷ができない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人のID・パスワードでログインし、開催要項の参考資料をクリックする
7	Web会議に参加できない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブラウザーを、「Internet Explorer」から「Chrome」か「Edge」に変更する
8	オンライン研修方法が分からない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 下記のURLで確認する 「Web会議・オンライン研修資料(動画含む)を活用した在勤校での研修の在り方」 https://www.gifu-net.ed.jp/tmd/kensyu/kenshu/2022youkou/web-manabi
9	アンケートに回答できない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 下記のURLで確認する https://www.gifu-net.ed.jp/tmd/kensyu/kenshu/2022youkou/anketo.pdf ⇒ 研修申込システムに申込みをしているかを管理職に確認する 申込みをしていない場合は、講座担当者にお問い合わせる
10	アンケート回答の間違い	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育研修課 研修企画係に問い合わせる

不明な点は、教育研修課 研修企画係 (058-271-3450) までお問合せください。

研修講座一覧(期日、開催方法等)

・★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2～3年目の教員にお勧めの講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「○」は、指標項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「・」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対 象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法		
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ
基本研修 経年研修														
1001	幼稚園等新規採用教員研修(幼・認)	◆	—	—	—					—	【教育研修課主催】 ① 5/11(水) ② 6/10(金) ④ 7/15(金) ⑤ 9/21(水)又は 9/22(木) ⑧ 2/ 8(水) 【各教育事務所主催】 ③⑥⑦開催要項を参照	◆	—	—
1002	初任者研修(小・義)	—	◆	—	—					—	開催要項を参照	◆	◆	◆
1003	初任者研修(中・義)	—	—	◆	—					—	開催要項を参照	◆	◆	◆
1004	初任者研修(高)	—	—	—	◆					—	開催要項を参照	◆	◆	—
1005	初任者研修(特)	—	—	—	—	◆				—	開催要項を参照	◆	◆	—
1006	新規採用養護教諭研修(小・中・義)	—	◆	◆	—	—				—	開催要項を参照	◆	◆	◆
1007	新規採用養護教諭研修(高・特)	—	—	—	◆	◆				—	開催要項を参照	◆	◆	◆
1008	新規採用栄養教諭研修(小中義高特) (新規採用・任用替)	—	◆	◆	◆	◆				—	開催要項を参照	◆	—	—
1009	新規採用実習助手研修(高)	—	—	—	◆	—				—	① 4/25(月) ②10/25(火)又は 11/1(火) ③12月中旬頃	◆	—	—
1010	新規採用実習助手研修(特)	—	—	—	—	◆				—	① 4/25(月) ②9月下旬頃	◆	—	—
1011	6年目研修(小・義)	—	◆	—	—	—				—	① 5/12(木) ② 8/18(木)19(金)22(月) 23(火)24(水)のうち1日 ③開催要項を参照	◆	◆	—
1012	6年目研修(中・義)	—	—	◆	—	—				—	① 5/12(木) ② 8/18(木)19(金)22(月) 23(火)24(水)のうち1日 ③開催要項を参照	◆	◆	—
1013	6年目研修(高)	—	—	—	◆	—				—	① 6/23(木) ② 8/19(金)22(月)23(火) 24(水)のうち1日～2日 ③11/ 8(火)又は 11/15(火)	◆	◆	—
1014	6年目研修(特)	—	—	—	—	◆				—	① 6/23(木) ② 8/24(水)	◆	◆	—
1015	6年目研修(養護教諭)	—	◆	◆	◆	◆				—	① 5/12(木) ② 8/23(火) 岐大連携 ③ 11/11(金)	◆	—	—
1016	6年目研修(栄養教諭)	—	◆	◆	—	—				—	① 5/12(木) ② 8/23(火) 岐大連携 ③未定	◆	—	—
1017	中堅教諭等資質向上研修(幼・認) 【12年目対象】	◆	—	—	—	—				—	5/26(木)	◆	—	—
1018	中堅教諭等資質向上研修(小・義) 【12年目対象】	—	◆	—	—	—				—	① 6 /2(木) ②各教育事務所ごと指定	◆	—	—
1019	中堅教諭等資質向上研修(中・義) 【12年目対象】	—	—	◆	—	—				—	① 6/ 2(木) ②各教育事務所ごと指定	◆	—	—
1020	中堅教諭等資質向上研修(高) 【12年目対象】	—	—	—	◆	—				—	① 6/ 1(水) ②10/ 5(水) 基準日 ③11/24(木)	◆	◆	—
1021	中堅教諭等資質向上研修(特) 【12年目対象】	—	—	—	—	◆				—	① 6/ 1(水) ②10/ 7(金) ③11/24(木)	◆	◆	—
1022	中堅教諭等資質向上研修(養護教諭) 【12年目対象】	—	◆	◆	◆	◆				—	① 6/ 2(木) ② 8 /1(月) ③12/ 2(金)	◆	—	—
1023	中堅教諭等資質向上研修(栄養教諭) 【12年目対象】	—	◆	◆	—	—				—	① 6/ 2(木) ② 7/ 6(水) ③11/25(金)	◆	—	—
1024	常勤講師研修(小・中・義)	—	◆	◆	—	—				当該教育事務所に申込	各教育事務所ごと指定	／	／	／
1025	はじめての常勤講師研修(高)	—	—	—	◆	—				—	① 4/25(月) ② 6/17(金)	◆	◆	—
1026	はじめての常勤講師研修(特)	—	—	—	—	◆				G1:①②必修 G2:③希望者 G3:④希望者	① 4/25(月) ② 6/17(金) ③④ 9月下旬頃	◆	◆	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

・★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2・3年目の教員に おすすめの講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「○」は、指導項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「J」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対 象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法		
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ
1027	はじめての養護助教諭研修(高・特)	—	—	◆	◆					—	① 4/25(月) ② 9/29(木)PM	◆	◆	—
1028	市町村立小中学校等事務職員1年目研修	—	◆	◆	—					—	① 4/26(火) ② 8/ 3(水) ③11/ 7(月)	◆	—	—
1029	市町村立小中学校等事務職員3年目研修	—	◆	◆	—					—	8/ 2(火)	◆	—	—
1030	新任学校司書研修(高)	—	—	—	◆					—	①4月中旬頃 ②10月頃	◆	—	—
基本研修 職務研修														
1101	新任校長研修(小・中・義)	—	◆	◆	—					—	① 5/10(火)PM ② 6/13(月) ③10/25(火)PM ④文部科学省主催新任校長 研修(オンデマンド配信)を 予定(実施時期未定)	◆	◆	◆
1102	新任校長研修(高・特)	—	—	—	◆	◆				—	① 4/18(月) ② 5/12(木)PM ③ 6/13(月) ④10/25(火)PM ⑤文部科学省主催新任校長 研修(オンデマンド配信)を 予定(実施時期未定)	◆	◆	◆
1103	新任副校長研修(高・特)	—	—	—	◆	◆				—	5/11(水)PM	◆	—	—
1104	新任教頭研修(小・中・義)	—	◆	◆	—					—	① 4/20(水)PM ② 5/25(水)PM ③ 6/15(水)PM ④⑤指定講座から2講座選 択	—	◆	—
1105	新任教頭研修(高・特)	—	—	—	◆	◆				—	① 4/14(木) ② 5/25(水) ③ 6/15(水)PM ④⑤指定講座から2講座選 択	◆	◆	—
1106	新任部主事研修(特)	—	—	—	—	◆				—	① 4/20(水) ② 5/26(木)	◆	—	—
1107	新任主幹教諭研修(小・中・義)	—	◆	◆	—					—	① 4/28(木) ② 7/21(木)※スクール リーダー養成研修Aと同日	—	◆	—
1108	新任指導教諭研修(小・中・義)	—	◆	◆	—					—	① 4/26(火) ②多文化共生・特別支援教 育の指定研修から1講座選 択	—	◆	—
1109	新任3主任研修(高・特)	—	—	—	◆	◆			G1:教務主任 G2:生徒指導主事 G3:進路指導主事	G1, G2, G3 ① 5/13(金) ②指定研修から1講座受講	—	◆	—	
1110	研修担当者研修・連絡協議会(高・特)	—	—	—	◆	◆				—	① 4/26(火)PM ② 2/ 6(月)PM	—	◆	—
1111	県立学校ICT推進担当者研修(高・特)	—	—	—	◆	◆			G1:岐阜地区 G2:西濃地区 G3:中濃地区 G4:東濃地区 G5:飛騨地区	G1: 6/30(木)AM G2: 6/16(木)AM G3: 6/20(月)AM G4: 6/17(金)AM G5: 6/23(木)AM	◆	—	—	
1112	県立学校情報管理担当者研修(高・特)	—	—	—	◆	◆			G1:岐阜地区 G2:西濃地区 G3:中濃地区 G4:東濃地区 G5:飛騨地区	G1: 6/30(木)AM G2: 6/16(木)AM G3: 6/20(月)AM G4: 6/17(金)AM G5: 6/23(木)AM	◆	—	—	
1113	県立学校はじめての情報管理担当者研修(高・特)	—	—	—	◆	◆				—	4/13(水)AM	◆	—	—
1114	校務支援システム(e-教務)担当者研修(高)	—	—	—	◆	—			G1:基本から応用までの機 能全般 G2:年度更新機能	G1: 4/27(水)PM G2: 2/9(木)PM	—	◆	—	
1115	特別支援学級(小・義)・言語通級指導教室 新任担当教員 研修	—	◆	—	—				G1:岐阜地区 G2:西濃地区 G3:美濃地区 G4:可茂地区 G5:東濃地区 G6:飛騨地区	① 5/24(火) ② 8/ 1(月) ③10/ 4(火)	—	◆	◆	
1116	特別支援学級(中・義) 新任担当教員研修	—	—	◆	—				G1:岐阜地区 G2:西濃地区 G3:美濃地区 G4:可茂地区 G5:東濃地区 G6:飛騨地区	① 5/24(火) ② 8/24(水) ③10/ 4(火)	—	◆	◆	
1117	特別支援学校 新任担当教員研修(特)	—	—	—	—	◆			G1:岐阜地区 G2:西濃地区 G3:美濃地区 G4:可茂地区 G5:東濃地区 G6:飛騨地区	① 5/24(火) ② 8/24(水) ③10/ 4(火)	—	◆	◆	

研修講座一覧(期日、開催方法等)

★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2・3年目の教員におすすめの講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「O」は、指標項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「・」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対 象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法			
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ	
1118	特別支援学校介護員・介護専門職研修	—	—	—	—	◆					—	7/25(月)予定	◆	—	—
1119	特別支援学校寄宿舎指導員研修	—	—	—	—	◆					—	8/ 1(月)	◆	◆	—
1120	市町村立小中学校等事務職員主任研修	—	◆	◆	—	—					—	8/ 1(月)	◆	—	—
1121	市町村立小中学校等事務職員主査研修	—	◆	◆	—	—					—	7/20(水)	◆	—	—
1122	市町村立小中学校等事務職員課長補佐研修	—	◆	◆	—	—					—	7/19(火)	◆	—	—
1123	学校司書資質向上研修(高)	—	—	—	◆	—				G1:希望者 G2:希望者	G1: 7/ 8(金) G2: 8月上旬頃		◆	◆	—
1124	学校司書エリアマネージャー研修(高)	—	—	—	◆	—				—	5/17(火)PM		◆	—	—
1125	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修(小・中・義の全ての校長)	—	◆	◆	—	—				G1:岐阜地区 G2:西濃地区 G3:美濃地区 G4:可茂地区 G5:東濃地区 G6:飛騨地区	5/24(火)PM		—	◆	—
1126	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修(小・中・義の全ての生徒指導主事)	—	◆	◆	—	—				G1:岐阜地区 G2:西濃地区 G3:美濃地区 G4:可茂地区 G5:東濃地区 G6:飛騨地区	5/24(火)PM		—	◆	—
1127	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修(高・特の全ての管理職・生徒指導主事等)	—	—	—	◆	◆				—	6/ 2(木)PM		—	◆	—
1128	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修(高・特の生徒指導主事、教育相談担当、養護教諭、生徒指導担当等)【生徒指導主事のみ悉皆】	—	—	—	◆	◆				—	5/19(木)PM		—	◆	—
選択研修 重点講話															
2001	重点講話① いのち・人権教育 「命とは」～奇跡の積み重ねで今を生きる～	◆	◆	◆	◆	◆	・	○	○	○	—	6/22(水)PM	—	◆	—
2002	重点講話② DX・情報社会 「DXで教育はどこに向かうのか」～企業の実践からDX教育の現状と動向を考える～	◆	◆	◆	◆	◆	・	○	○	○	—	6/27(月)PM	—	◆	—
2003	重点講話③ 性教育 ～幼児期や学校現場における「性教育」を考える～	◆	◆	◆	◆	◆	・	○	○	○	—	9/30(金)PM	—	◆	—
2004	重点講話④ 特別支援教育 ～通常学級での特別支援教育のスタンダード～	◆	◆	◆	◆	◆	・	○	○	○	—	10/24(月)PM	—	◆	—
選択研修 管理職アラカルト研修															
2011	管理職アラカルト研修【学校経営】 組織を生かすリーダーシップ	◆	◆	◆	◆	◆	・	・	・	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	5/18(水)PM	—	◆	—
2012	管理職アラカルト研修【人材育成】 人を育てる仕事のあり方	◆	◆	◆	◆	◆	・	・	・	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	9/14(水)PM	—	◆	—
2013	管理職アラカルト研修【教育課程】 実践 深い学び	◆	◆	◆	◆	◆	・	・	・	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者 G3:新任3主任研修対象者 (教務のみ)	9/ 7(水)PM	—	◆	—
2014	管理職アラカルト研修【ICT活用】 ICTと新たな学び	◆	◆	◆	◆	◆	・	・	・	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	10/11(火)PM	—	◆	—
2015	管理職アラカルト研修【リスクマネジメント】 学校外への説明責任	◆	◆	◆	◆	◆	・	・	・	○	—	4/18(月)PM	◆	—	—
2016	管理職アラカルト研修【生徒指導】 法規の視点から考える生徒指導	◆	◆	◆	◆	◆	・	・	・	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者 G3:新任3主任研修対象者 (生指のみ)	4/28(木)PM	—	◆	—
2017 ☆	管理職アラカルト研修【危機管理・わいせつ対応】 「性犯罪から子どもを守る」4つの前提条件を理解して、よりよい就業環境を考える	◆	◆	◆	◆	◆	・	・	・	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	10/25(火)PM	—	◆	—
2018 ☆	管理職アラカルト研修【業務改善】 「まったなし!業務改善」学校における働き方改革を実態をもとに考える	◆	◆	◆	◆	◆	・	・	・	○	G1:希望者・新任教頭研修対象者 G2:新任3主任研修対象者	5/13(金)PM	—	◆	—
選択研修 学習指導															
2101	保育力向上講座(幼児教育) ～幼児理解と保育者の援助について考えよう～	◆	—	—	—	◆	○	○	○	・	G1:いづみ第2幼稚園(岐阜市) G2:大垣市立北幼保園(大垣市)	G1:10/11(火) G2:10/19(水)	◆	—	—
2102	感性を育む幼児教育講座 ～豊かな感性をもち、遊びや活動を楽しむ子どもを育てよう～	◆	—	—	—	◆	・	○	○	・	—	8/30(火)	◆	—	—
2103	感性を育む絵画指導講座(幼・保・認・小(低)・義・特) ～子どもの絵について、体験しながら考える一日～	◆	◆	—	—	◆	○	○	○	○	G1 G2	G1:10/19(水) G2:10/26(水)	◆	—	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

・★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2～3年目の教員におすすめの講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「○」は、指導項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「J」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法		
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ
2104	幼保小連携講座 ～「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を通して、つながろう～	◆	◆	—	◆	·	○	○	·	—	10/26(水)	◆	—	—
2105	幼児運動遊び指導者講習会 ～幼児の体力向上に関するマネジメントの在り方～	◆	◆	—	◆	○	○	·	·	G1 G2	G1: 6/ 3(金) PM G2: 11/ 4(金) PM	◆	—	—
2106	食育・環境教育実践講座 ～土にふれよう、楽しく育てよう！～	◆	◆	—	◆	○	○	·	·	—	5/20(金)	◆	—	—
2107	授業づくりサポート(小・義) ～日頃の悩みやアイデアを交流し、明日からの授業づくりに ついて考えよう～	—	◆	—	◆	★	·	·	·	G1: 国語 G2: 社会 G3: 算数 G4: 理科 G5: 生活 G6: 音楽 G7: 図画工作 G8: 家庭 G9: 体育 G10: 外国語活動・外国語	G1: 5/19(木) PM G2: 5/13(金) PM G3: 5/17(火) PM G4: 5/19(木) PM G5: 5/13(金) PM G6: 5/17(火) PM G7: 5/19(木) PM G8: 5/13(金) PM G9: 5/17(火) PM G10: 5/13(金) PM	◆	—	—
2108	学習指導の基礎・基本(教科)(小・義) ～学習指導要領の理解を深め、教科指導力の向上を図ろう ～	—	◆	—	◆	★	·	·	·	G1: 国語 G2: 社会 G3: 算数 G4: 理科 G5: 生活 G6: 音楽 G7: 図画工作 G8: 家庭 G9: 体育 G10: 外国語活動・外国語 G11: 国語 G12: 社会 G13: 算数 G14: 理科 G15: 音楽 G16: 図画工作 G17: 外国語活動・外国語	G1: 6/16(木) PM G2: 6/ 9(木) PM G3: 6/10(金) PM G4: 6/16(木) PM G5: 6/16(木) PM G6: 6/ 9(木) PM G7: 6/17(金) PM G8: 6/ 9(木) PM G9: 6/24(金) PM G10: 6/16(木) PM G11: 10/19(水) PM G12: 10/19(水) PM G13: 10/21(金) PM G14: 10/20(木) PM G15: 10/21(金) PM G16: 10/21(金) PM G17: 10/20(木) PM	◆	◆	—
2109	授業を見て学ぶ(教科)(小・義) ～実際に授業を参観し、指導のコツをつかもう～	—	◆	—	◆	★	·	·	·	G1: 国語 G2: 社会 G3: 算数 G4: 理科 G5: 生活 G6: 音楽 G7: 図画工作 G8: 家庭 G9: 体育 G10: 外国語活動・外国語 G11: 特別支援教育	1/24(火) PM ※開講教科は4月に決定	◆	—	—
2110	指導計画と評価(教科)(小・義) ～見直しをもって指導し、適切に評価する力を身に付けよう ～	—	◆	—	◆	★	·	·	·	G1: 国語 G2: 社会 G3: 算数 G4: 理科 G5: 生活 G6: 音楽 G7: 図画工作 G8: 家庭 G9: 体育 G10: 外国語活動・外国語	G1: 5/23(月) PM G2: 5/23(月) PM G3: 5/20(金) PM G4: 5/23(月) PM G5: 5/23(月) PM G6: 5/30(月) PM G7: 5/23(月) PM G8: 5/30(月) PM G9: 5/30(月) PM G10: 5/23(月) PM	◆	—	—
2111	授業改善講座(小・義 国語) ～児童が夢中になれる国語の授業づくりに向けて～	—	◆	—	◆	·	○	○	·	G1: 集合研修(終日) G2: オンライン研修(午前)	G1: 5/31(火) G2: 5/31(火) AM	◆	◆	—
2112	授業改善講座(小・義 社会) ～社会科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に 向けた社会科指導の改善～	—	◆	—	◆	·	○	○	·	G1: 集合研修(終日) G2: オンライン研修(午前)	G1: 6/ 8(水) G2: 6/ 8(水) AM	◆	◆	—
2113	授業改善講座(小・義 算数) ～3 Stepsで授業を変える(把握・分析・改善)～	—	◆	—	◆	·	○	○	○	G1: 集合研修(終日) G2: オンライン研修(午前)	G1: 10/ 6(木) G2: 10/ 6(木) AM	◆	◆	—
2114	授業改善講座(小・義 理科) ～授業づくりの悩みを解決(オンライン研修)、大学の先生に よる専門的な観察、実験から学ぶ(集合研修)～	—	◆	—	◆	·	○	○	○	G1: 集合研修(終日) G2: オンライン研修(午前)	G1: 5/25(水) G2: 5/25(水) AM	◆	◆	—
2115	授業改善講座(小・義 音楽) ～「できた！わかった！もっ！もっ！」があふれる授業について 学び合おう～	—	◆	—	◆	·	○	○	○	G1: 集合研修(終日) G2: オンライン研修(午前)	G1: 11/11(金) G2: 11/11(金) AM	◆	◆	—
2116	授業改善講座(小・義 図画工作) ～生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力 の育成を目指して～	—	◆	—	◆	·	○	○	○	G1: 集合研修(午後) G2: オンライン研修(午後)	G1: 6/10(金) PM G2: 6/20(月) PM	◆	◆	—
2117	授業改善講座(小・義 体育) ～ねらいを明確にした授業づくり～	—	◆	—	◆	·	○	○	○	G1: 集合研修(終日) G2: オンライン研修(午前)	G1: 6/30(木) G2: 6/30(木) AM	◆	◆	—
2118	授業改善講座(小・義 家庭) ～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、家庭科の 指導力を高めよう～	—	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	10/ 4(火)	◆	—	—
2119	授業改善講座(小・義 生活) ～実践から学ぶ！気付きの質を高める生活科指導のすすめ ～	—	◆	—	◆	·	○	○	○	—	10/14(金) PM	◆	—	—
2120	「NEW！GIFUウェブラーニング」に関する研修 ～楽しく学んで学力アップ・データを活用して指導力アップ～	—	◆	—	◆	★	○	○	·	G1 G2	G1: 6/13(月) PM G2: 8/22(月) PM	—	◆	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

・★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2・3年目の教員におすすめの講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「○」は、指導項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「・」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法			
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ	
2121	遊びを活用した体力向上指導者講習会 ～楽しい体育の極意～	—	◆	—	—	◆	○	○	・	・	—	11/25(金)PM	◆	—	—
2122	英語指導力向上講座(小・義) ～言語活動や学習評価の具体を学び外国語指導力向上を 目指そう!～	—	◆	—	—	◆	・	○	○	○	G1:小中連携(オンライン研 修) G2:言語活動の具体(集合) G3:学習評価と指導改善(集 合)	G1: 6/10(金)PM (中と同一日) G2:10/24(月) G3:11/28(月)	◆	◆	—
2123 ☆	小学校英語専科教員研修 ～専科教員としての指導力を向上させよう～	—	◆ 専科	—	—	—	○	○	○	・	G1:集合研修 G2:オンライン研修	G1: 5/30(月) G2: 6/ 6(月)PM	◆	◆	—
2124	e-Learning 小学校外国語講座 ～オンライン研修で指導力・英語力を向上させよう～	—	◆	—	—	—	○	○	○	○	—	文科省が定めた期間	—	◆	◆
2125	授業づくりサポート(中・義) ～日頃の悩みやアイデアを交流し、明日からの授業づくりに ついて考えよう～	—	—	◆	—	◆	★	・	・	・	G1:国語 G2:社会 G3:数学 G4:理科 G5:音楽 G6:美術 G7:技術 G8:家庭 G9:保健体育 G10:外国語	G1: 6/ 3(金)PM G2: 6/ 3(金)PM G3: 6/ 3(金)PM G4: 6/ 2(木)PM G5: 6/ 1(水)PM G6: 6/ 1(水)PM G7: 6/ 1(水)PM G8: 6/ 2(木)PM G9: 6/ 2(木)PM G10: 6/ 1(水)PM	◆	—	—
2126	学習指導の基礎・基本(教科)(中・義) ～学習指導要領の理解を深め、教科指導力の向上を図ろう ～	—	—	◆	—	◆	★	・	・	・	G1:国語 G2:社会 G3:数学 G4:理科 G5:音楽 G6:美術 G7:技術 G8:家庭 G9:保健体育 G10:外国語 G11:国語 G12:社会 G13:数学 G14:理科 G15:音楽 G16:美術 G17:外国語	G1: 10/27(木)PM G2: 10/27(木)PM G3: 10/26(水)PM G4: 10/26(水)PM G5: 10/27(木)PM G6: 10/27(木)PM G7: 10/26(水)PM G8: 10/27(木)PM G9: 10/27(木)PM G10: 10/26(水)PM G11: 6/23(木)PM G12: 6/22(水)PM G13: 6/22(水)PM G14: 6/23(木)PM G15: 6/22(水)PM G16: 6/23(木)PM G17: 6/22(水)PM	◆	◆	—
2127	授業を見て学ぶ(教科)(中・義) ～実際に授業を参観し、指導のコツをつかもう～	—	—	◆	—	◆	★	・	・	・	G1:国語 G2:社会 G3:数学 G4:理科 G5:音楽 G6:美術 G7:技術 G8:家庭 G9:保健体育 G10:外国語 G11:特別支援教育	10/ 3(月) ※開講教科は4月に決定	◆	—	—
2128	指導計画と評価(教科)(中・義) ～見直しをもって指導し、適切に評価する力を身に付けよう ～	—	—	◆	—	◆	★	・	・	・	G1:国語 G2:社会 G3:数学 G4:理科 G5:音楽 G6:美術 G7:技術 G8:家庭 G9:保健体育 G10:外国語	G1: 6/15(水)AM G2: 6/15(水)PM G3: 6/15(水)PM G4: 6/13(月)PM G5: 6/15(水)PM G6: 6/13(月)PM G7: 6/15(水)PM G8: 6/17(金)PM G9: 6/13(月)PM G10: 6/13(月)PM	◆	—	—
2129	授業改善講座(中・義 国語) ～生徒がのめりこむ国語の授業づくりに向け～	—	—	◆	—	◆	・	○	○	・	G1:集合研修(終日) G2:オンライン研修(午前)	G1: 6/ 6(月) G2 :6/ 6(月)AM	◆	◆	—
2130	授業改善講座(中・義 社会) ～社会科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に 向けた社会科指導の改善～	—	—	◆	—	◆	・	○	○	・	G1:集合研修(終日) G2:オンライン研修(午前)	G1:10/ 6(木) G2:10/ 6(木)AM	◆	◆	—
2131	授業改善講座(中・義 数学) ～3 Stepsで授業を変える(把握・分析・改善)～	—	—	◆	—	◆	・	○	○	○	G1:集合研修(終日) G2:オンライン研修(午前)	G1:10/24(月) G2:10/24(月)AM	◆	◆	—
2132	授業改善講座(中・義 理科) ～授業づくりの悩みを解決(オンライン研修)、大学の先生に よる専門的な観察、実験から学ぶ(集合研修)～	—	—	◆	—	◆	・	○	○	○	G1:集合研修(終日) G2:オンライン研修(午前)	G1:10/13(木) G2:10/13(木)AM	◆	◆	—
2133	授業改善講座(中・義 音楽) ～「できた!わかった!もっとな!」があふれる授業について 学び合おう～	—	—	◆	—	◆	・	○	○	○	G1:集合研修(終日) G2:オンライン研修(午前)	G1:10/13(木) G2:10/13(木)AM	◆	◆	—
2134	授業改善講座(中・義 美術) ～生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資 質・能力の育成を目指して～	—	—	◆	—	◆	・	○	○	○	G1:集合研修(午後) G2:オンライン研修(午後)	G1: 9/21(水)PM G2: 9/29(木)PM	◆	◆	—
2135	授業改善講座(中・義 保健体育) ～ねらいを明確にした授業づくり～	—	—	◆	—	◆	・	○	○	○	G1:集合研修(終日) G2:オンライン研修(午前)	G1:10/ 6(木) G2:10/ 6(木)AM	◆	◆	—
2136	授業改善講座(中・義 技術) ～困っていませんか?双方向性のあるコンテンツによるプロ グラミング～	—	—	◆	—	◆	・	○	○	○	—	10/ 5(水)	◆	—	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

・★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2・3年目の教員におすすめの講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「O」は、指標項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「・」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対 象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法			
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ	
2137	授業改善講座(中・義 家庭) ～学習指導要領を踏まえて、家庭科(家庭分野)の指導力を高めるよう～	—	◆	◆	—	◆	○	○	○	○	—	9/29(木)	◆	—	—
2138	英語指導力向上講座(中・義) ～言語活動や学習評価の具体を学び、外国語指導力向上を目指すよう！～	—	—	◆	—	◆	○	○	○	○	G1:小中連携(オンライン研修) G2:技能統合型の言語活動(集合) G3:学習評価と指導改善(集合)	G1: 6/10(金) (小と同一日) G2:10/12(水) G3:12/13(火)	◆	◆	—
2139	e-Learning 中・高等学校英語講座 ～オンライン研修で英語指導力を向上させよう～	—	—	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	文科省が定めた期間	—	◆	◆
2140	教科指導基礎力向上講座(高) ～授業の基礎・基本を学び、教科指導力の向上を図ろう～	—	—	—	◆	◆	★	—	—	—	G1:国語 G2:地歴公民 G3:数学 G4:理科 G5:外国語 G6:保健体育 G7:音楽 G8:美術 G9:書道 G10:家庭福祉 G11:農業 G12:工業 G13:商業 G14:情報	基準日: ① 6/ 8(水) ②11/ 9(水)	◆	◆	◆
2141	授業改善講座(高 国語) ～実践から学び、実践で追究する！新時代を切り拓く力を育む国語の授業づくり～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	G1:オンライン研修 G2:研究授業参観 G3:研究授業参観	G1: 5/26(木)AM G2:11月上旬頃 G3: 1月中旬頃	◆	◆	◆
2142	授業改善講座(高 地歴公民) ～地歴・公民科の授業における評価の在り方～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	—	① 6/ 9(水) ②10/ 7(金)PM	◆	—	—
2143	授業改善講座(高 数学) ～実践から学ぶ、授業力向上～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	G1～G3:授業参観・授業研究	G1:10月頃 G2:11月頃 G3:11月頃	◆	—	—
2144	授業改善講座(高 理科) ～実験は楽しい！実験のネタが手に入る～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	—	—	10月頃	◆	—	—
2145	授業改善講座(高 音楽) ～資質・能力を確実に育成するために、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動の充実～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	—	6/ 8(水)PM	◆	◆	—
2146	授業改善講座(高 美術) ～生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指して～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	—	6/ 8(水)PM	—	◆	—
2147	授業改善講座(高 家庭・福祉) ～「主体的・対話的で深い学び」に対応した授業の研究をしよう～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	高等学校家庭科・福祉科教員希望者	G1: 6/17(金)PM G2: 7/12(火)PM	—	◆	—
2148	授業改善講座(高 工業) ～ICTの活用や学習活動と評価の工夫により、魅力ある授業をデザインする～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	G1:集合研修 G2:オンライン研修	G1-G2: 1/26(木)PM	◆	◆	—
2149	授業改善講座(高 情報) ～実践に学ぶ！資質・能力を育む情報の授業！～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	G1:岐阜地区 G2:西濃・東濃地区 G3:中濃・飛騨地区 G4:オンライン研修 G5,G6:プログラミング研修 G7,G8:授業参観・授業研究	G1: 5/12(木)PM G2: 5/13(金)PM G3: 5/16(月)PM G4: 5/20(金)PM G5,G6: 7/ 4(月)PM G7:11月頃 G8:12月頃	◆	◆	—
2150	授業改善講座(高 商業) ～ICT機器を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた商業教育！～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	G1:ICT機器を活用した授業研究等 G2,G3:授業参観・授業研究	G1: 7/15(金)PM G2:11月頃 G3:12月頃	◆	◆	G1のみ可◆
2151	英語指導力向上講座(高) ～学習指導要領を踏まえた指導と評価の在り方について～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	G1,G2:学習指導要領を踏まえた観点別評価 G3,G4:「指導と評価の一体化」のための授業改善	G1,G2: 6/ 6(月)PM G3,G4: 9/29(木)PM	◆	◆	—
2152	技術力向上講座(高 家庭・福祉) ～家庭・福祉の実技指導力向上を目指して～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	G1:家庭 G2:福祉	G1: 7/28(木)予定 G2: 7/26(火)予定	◆	—	—
2153	技術を生かした農業の授業づくり講座(高 農業) ～農業の「深い学び」につなげる専門力・授業力の向上～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	G1:生産系 G2:加工系 G3:森林・環境系	G1① 8/ 1(月) ②10/21(金) G2① 8/ 1(月) ②10/28(金) G3① 8/19(金) ②10/19(水)	◆	—	—
2154	モノづくりスキルアップ講座 ～各専門分野の技術や技能を学び、モノづくりスキルアップ！～	—	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	G1:機械系(航空機製造) G2:電気通信系(micro:bit) G3:建設系(木材加工機) G4:建設系(建設ICT)	G1: 8/26(金) G2: 8/24(水) G3: 8/19(金) G4: 8/ 3(水)	◆	—	—
2155	マーケティング戦略講座(高 商業) ～地域活性・ビジネスデザインを実践的に行う課題解決型授業～	—	—	—	◆	◆	—	○	○	○	—	9/ 9(金)	◆	—	—
2156	道徳教育と「特別の教科 道徳」(小・義) ～要となる「特別の教科 道徳」の授業づくりのポイントを学ぼう～	—	◆	—	—	◆	★	—	—	—	G1:中濃総合庁舎 G2:総合教育センター	G1: 6/16(木)PM G2: 1/26(木)PM	◆	—	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

・★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小・中・高2～5年目、高特2・3年目の教員に おすすめの講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「○」は、指標項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「・」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対 象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法			
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ	
2157	道徳教育と「特別の教科 道徳」(中・義) ～要となる「特別の教科 道徳」の授業づくりのポイントを学ぼう～	—	—	◆	—	◆	★	·	·	·	G1:中濃総合庁舎 G2:総合教育センター	G1: 7/ 6(水)PM G2: 1/31(火)PM	◆	—	—
2158	授業改善講座「特別の教科 道徳」(小・中・義:理論編) ～「考え、議論する」道徳の授業を考えよう～	—	◆	◆	—	◆	·	○	○	○	G1:集合研修 G2:オンライン研修	5/27(金)	◆	◆	—
2159	授業改善講座「特別の教科 道徳」(小・義:実践編) ～「考え、議論する」道徳の授業を考えよう～	—	◆	—	—	◆	·	○	○	○	—	12/ 6(火)PM	◆	—	—
2160	授業改善講座「特別の教科 道徳」(中・義:実践編) ～道徳教育と「特別の教科 道徳」の指導の充実について考える～	—	—	◆	—	◆	·	○	○	○	—	12/ 8(木)PM	◆	—	—
2161	総合的な学習の時間(小・中・義) 探究的な学習の充実に向けて～これからの教育で求められるカリキュラムデザインのコツ～	—	◆	◆	—	◆	★	·	·	·	—	11/11(金)PM	◆	—	—
2162 ☆	総合的な探究の時間(高) 探究的な学習の充実に向けて～これからの教育で求められるカリキュラムデザインのコツ～	—	—	—	◆	◆	★	·	·	·	—	7/8(金)	◆	—	—
2163	日本の伝統音楽のよさを学ぶ ～日本の伝統音楽のよさを体験！一流講師から学ぶ「和太鼓」「箏」「篠笛」「民謡」の基礎講座～	◆	◆	◆	◆	◆	·	○	○	○	G1:篠笛 G2:民謡、箏 G3:民謡、和太鼓	G1: 9/14(水) G2: 9/ 5(月) G3: 9/ 5(月)	◆	—	—
2164	家庭科実技講習会(小・中・義・高・特) ～家庭科の基礎的な実技の指導力を身に付けよう～	—	◆	◆	◆	◆	○	○	·	·	—	6/ 7(火)予定	◆	—	—
2165	法曹三者から学ぶ司法の仕組み ～法曹三者の話から、司法の仕組みに対する理解を深めよう～	◆	◆	◆	◆	◆	·	○	○	○	—	8/23(火)	◆	—	—
2166 ☆	高校を取り巻く社会の変化 ～18歳成人に向けて教師に求められる資質・能力～	—	—	—	◆	◆	○	○	○	·	—	6/ 6(月)PM	—	◆	—
2167 ☆	論理的・批判的思考力育成のための実践講座(英語) ～普段の授業で生徒の発信力を強化するために～	—	—	◆	◆	◆	·	○	○	○	—	10/24(月)PM	◆	—	—
2168 ☆	ALTとの授業デザイン研修 ～授業を実際のコミュニケーションの場とするためにALTとどんな授業ができるのか～	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	7月頃	◆	—	—
2169	薬物乱用防止教室講習会(体育保健領域・特別活動等) ～薬物乱用防止教室のさらなる充実のために～	—	◆	◆	◆	◆	·	○	○	·	—	未定	◆	—	—
2170	がん教育指導者研修会(体育保健領域・特別活動等) ～がん教育実施に向け、外部講師を活用した授業の進め方について理解を深める～	—	◆	◆	◆	◆	·	○	○	○	—	G1:10～12月 未定 G2:10～12月 未定 G3:10～12月 未定 G4:10～12月 未定 G5:10～12月 未定	◆	—	—
2171	養護教諭・栄養教諭の実践から学ぶ(2～5年目の養護教諭・栄養教諭対象) ～健康教育・食育の在り方～	—	◆	◆	◆	◆	★	·	·	·	—	11/14(月)	◆	—	—
2172	武道指導講習会【剣道】 ～安全で楽しい剣道授業の指導方法を学ぶ～	—	—	◆	◆	◆	○	○	·	·	—	10/21(金)PM	◆	—	—
2173	運動部活動指導技術向上講習【全種目・トレーニング法】 ～指導上の課題や悩みを解決しよう！～	—	—	◆	◆	◆	○	○	·	·	—	6/14(火)	◆	—	—
2174	運動部活動指導技術向上講習【ソフトボール(女子指導法)】 ～極意を学び、指導に役立てよう！～	—	—	◆	◆	◆	○	○	·	·	—	11/11(金)	◆	—	—
2175	運動部活動指導技術向上講習【ソフトテニス】 ～専門性を高め、指導に役立てよう！～	—	—	◆	◆	◆	○	○	·	·	—	11/18(金)	◆	—	—
2176	理科教育講座(小・義 理科) ～今日的な教育課題を踏まえた理科授業の実践と紀要の作成～	—	◆	—	—	◆	○	○	○	·	—	① 6/24(金)PM ②10/27(木)PM ③ 1/25(水)	—	◆	—
2177	理科教育講座(中・義 理科) ～今日的な教育課題を踏まえた理科授業の実践と紀要の作成～	—	—	◆	—	◆	○	○	○	·	—	① 6/24(金)PM ②10/27(木)PM ③ 1/25(水)	—	◆	—
2178	理科教育講座(高 理科) ～生徒も自分も納得する授業づくり！～	—	—	—	◆	◆	○	○	○	○	—	① 6/20(月)PM ② 9/14(水)PM ③11/21(月) ④ 1/25(水)	◆	—	—
2179	大学入試問題研究講座(高 国語) ～新しい大学入試に求められる学力の研究 生徒の夢をかなえる授業をめざして～	—	—	—	◆	◆	·	○	○	○	—	9/26(月)PM	◆	—	—
2180	大学入試問題研究講座(高 数学) ～新しい大学入試に求められる学力の研究 生徒の夢をかなえる授業をめざして～	—	—	—	◆	◆	·	○	○	○	—	9/26(月)PM	◆	—	—
2181	大学入試問題研究講座(高 外国語) ～新しい大学入試に求められる英語力とは 生徒の夢の実現をめざして～	—	—	—	◆	◆	·	○	○	○	—	9/26(月)PM	◆	—	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2・3年目の教員におすすめの講座内容)
 ●印はキャリアステージに記載の「○」は、指導項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ●受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「J」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ●開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法			
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ	
2182	研究開発講座(高 理科実験教材開発)(3回講座) ～協働で開発しよう、実験教材～	—	—	—	◆ 指定者	—	○	○	○	○	G1:理科教員 G2:岐阜北地区の理科実習 教諭・実習助手 G3:中濃地区の理科実習教 諭・実習助手	G1:① 5/27(金)PM ② 7/15(金)PM ③11/14(月)PM G2:① 5/27(金)PM ② 7/ 8(金)PM ③11/ 7(月)PM G3:① 5/27(金)PM ② 7/ 6(水)PM ③11/10(木)PM	◆	◆	—
選択研修 生徒指導															
2201	学級経営(基礎形成) ～一人一人が輝き、成長するための学級経営を学ぼう～	—	◆	◆	—	—	★	—	—	—	G1:教育総合センター G2:可茂総合庁舎【TV会 議】 G3:飛騨総合庁舎【TV会 議】	12/ 5(月)PM	◆	—	—
2202	学級活動(基礎形成) ～よりよい集団生活の構築や社会への参画、自己の実現 に向けた実践に結び付ける学級活動の在り方を学ぼう～	—	◆	◆	—	—	★	—	—	—	G1:教育総合センター G2:中濃総合庁舎【TV会 議】 G3:飛騨総合庁舎【TV会 議】	12/12(月)PM	◆	—	—
2203	特別活動 指導力向上講座(小・中・義) ～集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成す る特別活動の在り方～	—	◆	◆	—	—	—	—	○	—	—	9/16(金)AM	—	◆	—
2204	学級経営講座(小・義) ～児童がよりよく生きる力を獲得することができる学級経営 の在り方を学ぼう～	—	◆	—	—	—	—	—	○	○	—	5/17(火)AM	—	◆	—
2205	学級経営講座(中・義) ～生徒がよりよく生きる力を獲得することができる学級経営 の在り方を学ぼう～	—	—	◆	—	—	—	—	○	○	—	5/25(水)AM	—	◆	—
2206	高等学校のホームルーム経営 ～初めてのホームルーム経営～	—	—	—	◆	—	★	—	—	—	—	7/ 6(水)	—	◆	—
2207	研究開発講座(高 ホームルームノートの作成) ～青春を探究しよう HR活動活性化の手引き～	—	—	—	◆ 指定者	—	—	—	○	○	—	① 5/26(木)PM ② 8/25(木)PM ③ 2/ 2(木)PM	◆	—	—
2208	キャリア教育基礎講座(基礎形成) ～児童生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤とな る能力や態度の育て方の基礎を学ぼう～	—	◆	◆	◆	◆	★	—	—	—	G1:小中義 G2:高特	G1:10/28(金)AM G2:10/28(金)PM	—	◆	—
2209	キャリア教育実践講座 ～キャリア発達を促すためのキャリアカウンセリングの具体 的な指導方法を学ぼう～	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	○	○	G1:希望者 G2:新任3主任(進路指導)対 象者	G1:10/14(金) G2:10/14(金)AM	◆	◆	—
2210	生徒指導基礎講座(小・中・義) ～事例を通して学ぶ問題行動対応～	—	◆	◆	—	—	—	—	○	○	—	9/29(木)PM	—	◆	—
2211	生徒指導基礎講座(高・特) ～事例を通して学ぶ問題行動対応～	—	—	—	◆	◆	★	—	○	○	—	6/22(水)PM	—	◆	—
2212	「魅力ある学校づくり」講座 ～「チーム学校」を基盤とした、いじめ・不登校の未然防止～	—	◆	◆	—	—	—	—	○	○	—	7/ 1(金)PM	—	◆	—
2213	臨床心理士による児童生徒の発達特性を踏まえた教育相 談の在り方 ～子どもの心と向き合うために～	—	◆	◆	◆	◆	★	—	—	—	G1:岐阜・西濃地区 G2:美濃・可茂地区 【TV会議】 G3:東濃地区【TV会議】 G4:飛騨地区【TV会議】	11/30(水)PM	◆	—	—
2214	教育相談基礎講座(2回講座) ～子どもたちの心の成長を支えるために～	—	◆	◆	◆	◆	★	—	○	—	G1:カウンセリング技法 G2:人間関係づくり	G1: 5/27(金)PM G2:10/ 7(金)PM	—	◆	—
2215	教育相談実践研修会(3回講座) ～教育相談課題の理解と対応～	—	◆	◆	◆	◆	★	—	○	○	G1:教育相談 G2:不登校 G3:起立性調節障がい	G1: 6/24(金)PM G2: 9/ 2(金)PM G3:12/ 2(金)PM	—	◆	—
2216	児童生徒理解講座 ～子どもたちの心の理解のために～	—	◆	◆	◆	◆	★	—	○	—	—	7/15(金)PM	—	◆	—
2217	児童生徒への対応講座 ～子どもたちの心を育てるために～	—	◆	◆	◆	◆	★	—	○	—	—	11/11(金)PM	—	◆	—
2218	外国人児童生徒への指導力向上講座(3回講座) ～児童生徒一人一人を大切に日本語指導・学習指導に ついて学ぼう～	◆	◆	◆	◆	◆	★ G1	—	○	○	G1:J S L対話型アセスメ ントD L Aの理解と活用方 法(兼:基礎形成選択講座) G2:生活適応のための支援 や初期指導 G3:教科につながる指導や 教材の活用	G1: 6/27(月) G2: 9/29(木) G3:12/ 6(火)	◆	—	—
2219	国際理解教育講座 ～JICA海外派遣の活用講座・ワークショップを通じて国際理 解教育力を高めよう～	◆	◆	◆	◆	◆	★ G1	—	○	○	G1:学級担任向け G2:校内推進者向け	G1: 8/ 2(火) G2: 8/ 3(水)	◆	—	—
選択研修 経営・分掌															
2301	人権教育講座 ～人権教育でこそできる「人間尊重の風がみなぎる学 校づくり」～	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	○	○	—	12/15(木)PM	◆	—	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2・3年目の教員におすすめの講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「○」は、指標項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「J」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対 象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法		
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ
2302	教師力を高めるメンタリングを身に付けよう！(高・特) ～メンタリングを通じた「学ぶ力と育てる力」の向上～	—	—	◆	◆	★	○	·	·	—	6/ 8(水)PM	◆	—	—
2303	話し方向上講座 ～相手に響く！伝わる！「話し方」を磨こう！～	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	G1 G2	G1: 9/15(木)PM G2: 9/21(水)PM	◆	—	—
2304	ワンペーパー向上講座 ～見やすい！分かりやすい！納得の1枚をつくろう！～	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	G1 G2	G1: 9/26(月)PM G2:10/ 3(月)PM	◆	—	—
2305	プレゼン力向上講座 ～相手の心をつかむ！揺さぶる！プレゼン力を磨こう！～	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	G1 G2	G1:12/ 2(金) G2:12/16(金)	◆	—	—
2306	保護者との信頼度向上講座 ～保護者との協力体制を築こう！～	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	12/13(火)	◆	—	—
2307	ファシリテーション講座 ～「場のデザイン力」「対人関係」「構造化」「合意形成」で、 議論を活性化させよう～	◆	◆	◆	◆	·	·	○	○	—	5/26(木)	◆	—	—
2308	コーチング講座 ～力を引き出しモチベーションアップ！ コーチングを身に付 け 学校組織を豊かに～	◆	◆	◆	◆	·	·	○	○	—	6/16(木)	◆	—	—
2309	DIG(災害図上訓練)初級編 ～命を守りきるための想定訓練～	◆	◆	◆	—	○	○	○	·	—	6/10(金)PM	—	◆	—
2310	HUG(避難所運営シミュレーション)初級編 ～学校が避難所になったら～	◆	◆	◆	◆	·	○	○	○	—	6/17(金)PM	—	◆	—
2311	防災教育スペシャリスト養成研修1(幼) ～子どもの命を守りきる防災教育～	◆	—	—	—	·	○	○	○	—	8/22(月)PM	—	◆	—
2312	防災教育スペシャリスト養成研修1(小・義)(2回講座) ～子どもの命を守りきる防災教育～	—	◆	—	—	·	○	○	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	① 6/24(金)PM ②10/ 6(木)PM	—	◆	—
2313	防災教育スペシャリスト養成研修1(中・義)(2回講座) ～子どもの命を守りきる防災教育～	—	—	◆	—	·	○	○	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	① 6/ 9(木)PM ②10/12(水)PM	—	◆	—
2314	防災教育スペシャリスト養成研修1(高)(2回講座) ～子どもの命を守りきる防災教育～	—	—	◆	—	·	○	○	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	① 6/23(木)PM ②10/19(水)PM	—	◆	—
2315	防災教育スペシャリスト養成研修1(特)(2回講座) ～子どもの命を守りきる防災教育～	—	—	—	◆	·	○	○	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	① 6/16(木)PM ②10/26(水)PM	—	◆	—
2316	防災教育スペシャリスト養成研修2 ～関係機関と連携した災害時の学校の対応の在り方～	◆	◆	◆	◆	·	○	○	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	8/ 1(月)PM	◆	—	—
2317	防災教育スペシャリスト養成研修3 ～災害発生時の対応 大川小学校事故に学ぶ～	◆	◆	◆	◆	·	○	○	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	11/ 7(月)PM	—	◆	—
2318	防災教育スペシャリスト養成研修4 ～危機管理マニュアルの見直し・改善～	◆	◆	◆	◆	·	○	○	○	G1:希望者 G2:新任教頭研修対象者	12/ 6(火)PM	—	◆	—
選択研修 特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒への対応														
2401	ユニバーサルデザインの授業づくり ～実践から学ぶ、誰もがわかる、ユニバーサルデザインの 授業・環境づくり～	◆	◆	◆	◆	★	○	·	·	G1:教育総合センター G2:茂茂総合庁舎【TV会 議】 G3:飛驒総合庁舎【TV会 議】	12/ 8(木)PM	◆	◆	—
2402	発達障がいのある幼児児童生徒への支援 ～作業療法士の視点から学ぶ(やりにくさの捉え方、感覚 統合)～	◆	◆	◆	◆	★	○	·	·	G1:教育総合センター予定 G2:中濃総合庁舎【TV会 議】 G3:飛驒総合庁舎【TV会 議】	8/25(木)PM	◆	◆	—
2403	発達障がいのある生徒への支援 ～通級指導の実践から学ぶ～	—	—	◆	◆	★	○	·	·	—	1/13(金)PM	◆	—	—
2404	個別の教育支援計画の作成・活用 ～作成の基本から、その活用までを学ぶ～	◆	◆	◆	—	★	○	○	○	G1:基礎形成期・資質向上 期 G2:資質充実期・資質貢 献 期	G1: 5/20(金)PM G2: 7/14(木)PM	—	◆	—
2405	特別支援学校・特別支援学級のHR・学級づくり ～HR・学級経営のノウハウや環境づくり～	—	◆	◆	◆	·	○	·	·	—	7/ 7(木)PM	—	◆	—
2406	指導計画に沿った特別支援学級、言語通級指導教室の授 業づくり ～障がい種別の実践者から学ぶ～	—	◆	◆	—	★	○	○	○	G1:知的障がい G2:自閉症・情緒障がい G3:言語通級 G4:肢体不自由 G5:聴覚障がい G6:病弱 G7:視覚障がい	G1: 7/ 1(金)AM G2: 7/ 1(金)PM G3: 6/ 8(水)AM G4: 6/ 8(水)PM G5: 6/10(金)AM G6: 6/10(金)PM G7: 7/ 8(金)PM	◆	—	—
2407	医学・福祉の視点から学ぶ特別支援教育(2回講座) ～発達障がいのある幼児児童生徒への支援～	◆	◆	◆	◆	○	○	○	·	—	① 9/ 7(水) ② 9/ 9(金)	◆	—	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

・★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2・3年目の教員に占めるための講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「○」は、指標項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「・」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法		
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	貢 献			集 合	同 双	オ デ
2408	読みに困難さのある児童への指導	◆	◆	—	◆	○ G1	○ G2	・	・	G1:基礎 G2:実践(実践者向け)	G1:4月～12月 G2: 8/23(火)	—	◆ G2	◆ G1
2409	交流及び共同学習 ～共に学び、互いに成長し合える交流であるために～	—	◆	◆	◆	・	○	・	・	G1:通常の学級と特別支援 学級 G2:居住地校交流・学校間 交流	G1: 6/30(木)PM G2: 6/23(木)PM	—	◆	—
2410	特別支援教育講座 医療的ケア専門研修 ～学校における医療的ケアの実際～	◆	◆	◆	—	◆	・	○	・	—	8/ 3(水)	◆	—	—
2411	e-Learning 多様なニーズに応じた特別支援教育講座 ～現場で役立つコンテンツが見つかる(県内・県外の特別 支援教育コンテンツより)～	◆	◆	◆	◆	○	○	・	・	—	8/ 1(月)～ 1/31(火)	—	—	◆
2412 ☆	発達障がいのある子の性教育	◆	◆	◆	—	・	○	・	・	—	10/19(水)	—	◆	—
2413 ☆	発達障がいのある子の「見る力」に対する指導	◆	◆	◆	—	・	○	・	・	—	11/29(火)	—	◆	—
2414 ☆	発達障がいのある学生に対する支援の実際 ～高等教育機関における発達障がい学生に対する支援の 実際～	◆	◆	◆	—	・	○	・	・	—	9/27(火)	—	◆	—
選択研修 ICTや情報・教育データの利活用														
2501	ICT活用・著作権・情報管理の基礎 ～これでばっちり！情報教育～	—	◆	◆	—	—	★	○	・	G1:小・中・義 G2:小・中・義 G3:小・中・義	G1: 5/25(水) G2: 6/10(金) G3: 6/22(水)	◆	—	—
2502	ICT活用実践研修(小・中・義) ～1人1台端末と連携する学習支援ソフトの活用指導力を 高める～	—	◆	◆	—	◆	○	○	○	G1:Microsoft365+SKY G2:iPad+□□ G3:Googleworkspace+□□ G4:iPad+SKY G5:Microsoft365+□□ G6:iPad+□□ G7:Googleworkspace+ミライ G8:iPad+ミライ G9:Microsoft365+SKY G10:iPad+□□ G11:Googleworkspace+□□ G12:iPad+SKY G13:Microsoft365+Meta G14:Microsoft365+SKY G15:iPad+□□	G1: 7/ 6(水) G2: 7/ 7(木) G3: 7/20(水) G4: 7/22(金) G5: 8/25(木) G6: 9/ 1(木) G7: 9/ 8(木) G8: 9/16(金) G9: 9/21(水) G10: 9/29(木) G11:10/ 3(月) G12:10/12(水) G13:10/17(月) G14:11/ 2(水) G15:11/16(水)	◆	—	—
2503	ICT活用実践研修(高) ～1人1台端末の活用と実践～	—	—	—	◆	◆	○	○	○	G1, G2: 基礎編 G3, G4: 管理編	G1: 5/19(木) G2: 5/26(木) G3: 4/27(水)PM G4: 4/28(木)～12/28(水)	◆	◆	◆
2504	ICT活用実践研修(特) ～1人1台端末の活用と実践～	—	—	—	—	◆	○	○	○	G1:導入編 G2:活用編	G1: 7/ 5(火)PM G2: 8/19(金)	◆	—	—
2505 ☆	放課後学べる！ミニICT講座 ～短時間でICTツールの基本的な使い方や使い慣れたソフト の新機能を学ぶ～	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	G1:WebexMeetings G2:Microsoft Forms G3:MetaMojiClassRoom G4:iPad各種アプリ G5:ロイロノート・スクール	G1: 7/14(木)PM G2: 7/21(木)PM G3: 7/25(月)PM G4: 7/29(金)PM G5: 8/30(火)PM	—	◆	◆
2506 ☆	みんなつながる！オンライン配信講座 ～魅力的なオンライン授業づくりの工夫とコツ～	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	9/14(水)	◆	—	—
2507 ☆	ダイナミックプレゼンテーション講座 ～児童・生徒の表現力を高めるために～	◆	◆	◆	◆	○	○	○	・	G1 G2	G1: 6/ 3(金) G2:10/21(金)	◆	—	—
2508 ☆	データの分析と教育への活用講座 ～ビッグデータ(RESAS)を授業に活用しよう～	—	◆	◆	◆	○	○	○	○	G1:集合研修 G2:オンライン研修	7/ 8(金)PM	◆	◆	—
2509	プログラミングやデザイン思考による課題解決学習講座 ～アイデアを形にするために～	—	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	10/13(木)	◆	—	—
2510	先端技術で実現する個別最適な学びと教育の未来 ～教育データの利活用の先進的な事例を学び、個別最適な 学びと教育の未来について考える～	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	11/30(水)PM	—	◆	—
2511	アカデミックセミナー 『新しい社会におけるひとりひとりの学びの創造』	—	◆	◆	◆	○	○	○	○	G1:Society 5.0を生きる子 供とともに育つ教師 G2:ICT・学習者用端末を 活用した授業設計の考え 方 G3:ICTを用いた子供の学 びの可能性 G4:個別最適な学びを 支援するためのICTの選 択 G5:質の高い学びの実 現にむけたICTの活用	G1: 5/27(金)PM G2: 6/30(木)PM G3: 7/22(金)PM G4: 8/ 2(火)PM G5: 9/29(木)PM	—	◆	—
2512	情報モラル教育指導者養成講座(3回講座) ～情報モラル教育のイロハ～	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	① 6/10(金) ②10/ 7(金) ③ 2/ 3(金)PM	—	◆	◆
2513	小学校プログラミング講座 ～教育課程への位置付けを実践的に行う～	—	◆	—	—	◆	○	○	○	G1:micro:bit G2:MESH G3:NHKfor School	G1: 5/18(水) G2: 9/ 7(水) G3:11/ 9(水)	◆	—	—

研修講座一覧(期日、開催方法等)

・★印は新規講座又は一部新規講座、★印は基礎形成選択講座(小中義2～5年目、高特2・3年目の教員におよぶための講座内容)
 ・キャリアステージに記載の「○」は、指標項目の内容を基に講座の対象とするキャリアステージを示しています。
 ・受講を希望する講座のキャリアステージの記載が「・」であっても、その講座を受講することは可能です。
 ・開催方法については、集合研修、オンライン研修(同時双方向型)、オンライン研修(オンデマンド型)を示しています。

講座番号	講座名 ～サブタイトル～	対 象				キャリアステージ				グループ	期 日	開催方法		
		幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 突	貢 献			集 合	同 双	オ デ
2514	ホームページによる県立学校の情報発信講座 ～WordPressを活用した効率的な学校情報の発信～	—	—	◆	◆	○	○	○	○	G1 G2	G1: 4/26(火) G2: 9/ 5(月)	◆	—	—
2515	校務のための表計算活用講座 ～校務処理の短縮に役立つ機能の活用～	—	◆	◆	◆	○	○	○	○	G1 G2	G1: 6/24(金) G2:10/28(金)	◆	—	—
2516	統合型校務支援システム活用講座 ～基本機能を知り、校務の効率化を図る～	—	◆	◆	—	—	○	○	○	G1:小・義 G2:中・義	G1: 6/27(月)PM G2: 6/29(水)PM	◆	—	—
2517	e-Learning 表計算VBA講座 ～アンケートを自動で集計するマクロを作成しよう～	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	5/10(火)～ 1/27(金)	—	—	◆
2518	e-Learning 情報モラル入門講座 ～情報モラル指導のポイントを知ろう～	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	・	—	5/10(火)～ 1/27(金)	—	—	◆
2519 ☆	児童生徒1人1台端末環境における情報モラル教育 ～今こそ必要な情報モラル教育の在り方～	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	11/24(木)PM	—	◆	—
2520 ☆	新しい学びの時代における著作権教育講座 ～1人1台端末環境、オンライン学習における著作権について学ぶ～	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	1/12(木)PM	—	◆	—
選択研修 育児休業からの復帰支援のための研修														
2601	育児休業からの復帰支援のための研修 ～自分の生き方を今一度考える時～	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	G1:小・中・義 G2:小・中・義 G3:高・特	G1: 8/29(月)PM G2: 8/30(火)PM G3: 8/31(水)PM	—	◆	◆
連携研修 大学との連携														
3001	スクールリーダー養成研修A	—	◆	◆	◆	◆	・	・	○	—	7/21(木)	—	◆	—
3002	スクールリーダー養成研修B	—	◆	◆	◆	◆	・	・	○	—	8/ 3(水)	—	◆	—
3003	スクールリーダー養成研修C	—	◆	◆	◆	◆	・	・	○	—	8/19(金)	—	◆	—
3004	清流の国ぎふ教師養成塾(採用前研修)	—	◆	◆	—	—				—	① 8/ 1(月)PM ②12/27(火)PM ③ 6/27(月)～ 8/12(金) ④ 2/20(月)～ 3/20(月)	—	◆	◆
連携研修 県美術館・県図書館・県博物館等の文化施設との連携														
3101	授業に活かす考古学講座【文化財保護センター】 ～本物に触れる感動を！興味・関心を高める授業づくり～	—	◆	◆	◆	◆	・	○	○	—	11/ 1(火)	◆	—	—
3102	博物館活用講座【岐阜県博物館】 ～自然観察やバックヤード見学等を行い、博物館の魅力・活用方法を学びます～	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	G1 G2	G1: 5/20(金) G2:10/21(金)	◆	—	—
3103	博物館活用講座【瑞浪市化石博物館】 ～地層の観察、化石採集・化石クリーニングを体験します～	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	10/ 7(金)	◆	—	—
3104	先端科学技術体験講座(光触媒、エネルギー)【サイエンスワールド】 ～好奇心をくすぐる体験！チタンの作用、発電実験～	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	・	G1:光触媒 G2:エネルギー	G1: 6/17(金)PM G2:11/18(金)PM	◆	—	—
3105	リユース・サイエンス体験講座【サイエンスワールド】 ～楽しくリユース～	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	G1:身近な物質を利用 G2:プラスチックの再利用	G1: 6/10(金)AM G2: 6/10(金)PM	◆	—	—
3106	自動走行カーによるプログラミング基礎講座【サイエンスワールド】 ～LEGOを組み立てScratchでプログラミング～	—	◆	◆	—	◆	○	○	○	—	10/27(木)	◆	—	—
3107	美術館活用講座【岐阜県美術館】 ～感性を動かして、美術館で活動に浸る一日～	—	◆	◆	◆	◆	・	○	○	—	11/ 9(水)	◆	—	—
3108	美術館活用講座【岐阜県現代陶芸美術館】 ～感性を動かして、美術館での活動に浸る一日～	—	◆	◆	◆	◆	・	○	○	—	10/28(金)	◆	—	—
3109	野外で学ぶ体験講座【森林文化アカデミー】 ～自然にふれて感動する体験をクリエイト～ ～学びの本質・野外での体験学習から探る～	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	G1:幼認 G2:幼認小中義高特	G1:11/17(木) G2:①11/24(木) ②11/25(金) ③2月頃	◆	◆	—



～「園・校内研修」で活用できる～ 重点講話 R 4

コロナ禍による急速な社会の変化に伴い、園・学校が抱える課題は複雑化してきています。この課題にどう対応していくとよいか、園・学校、団体、個人でも研修できるように、全て「オンライン研修」で行います。今年も選りすぐりの講師をお招きし、共に考えます。

第1回 いのち・人権教育 講座番号2001

開催日：6月22日(水)
時間：14:30～16:30
場所：勤務校
形態：オンライン研修

「命とは」 ～奇跡の積み重ねで今を生きる～ 総合医療センター 新生児内科医長 寺澤 大祐 氏

「命の大切さ」を子どもたちにどう伝えますか。「命の現場」で日々命に向き合って奮闘する講師の生の声から、「命を大切に」とはどのようなことか、「命の大切さ」を伝えるために私たちは何をすべきかを共に考えます。

第2回 DX・情報社会 講座番号2002

開催日：6月27日(月)
時間：14:30～16:30
場所：当センター・勤務校
形態：集合・オンライン研修

「DXで教育はどこに向かうのか」 企業の実践からDX教育の現状と動向を考える 一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協会 代表理事 森戸 裕一 氏

DXとは何でしょう。DXで教育はどう変わるのでしょう。企業でのDXの取組や社会の方向性などを通して、今後の教育の在り方やその課題について共に考えます。

第3回 性教育 講座番号2003

開催日：9月30日(金)
時間：14:30～16:30
場所：勤務校
形態：オンライン研修

幼児期や学校における 「性教育」を考える 埼玉医科大学 地域医学推進センター 高橋 幸子 氏

10代での妊娠相談や子どもたちを狙う性犯罪の増加から、今まで以上に性教育の必要性が求められています。今、子どもたちを守るために必要とされる性教育について、園や学校でどのように取り組んでいくことが大切かを共に考えます。

第4回 特別支援教育 講座番号2004

開催日：10月24日(月)
時間：14:30～16:30
場所：勤務校
形態：オンライン研修

通常学級での 特別支援教育のスタンダード 明星大学 心理学部心理学科 教授 小貫 悟 氏

〈視点のちりばめ〉から〈展開〉をキーワードに、実際に発達障がいがある子どもがいる学級での授業や学級経営の実践事例をもとに、明日からの支援を共に考えます。

確認

- ・申込について、団体で受講する場合は、参加者全員分の申込をしてください。
- ・オンライン受講者名について、個人の場合は「所属名・氏名」、団体の場合は「団体名・団体参加」としてください。（※「〇〇立」は省略してください。）

小学校英語専科教員研修

2020年度、英語教育の早期化・教科化にともなって導入され始めた小学校英語専科教員の配置や外国語科における教科担任制。高い教科専門性を生かしながら、小学校の外国語教育の特性を踏まえた質の高い授業づくりをめざしたい、そんな先生方におすすめする新規研修講座です。



学校内のすべての外国語の授業を担当しています。小学校における外国語の指導について相談する先生が校内に少なく、不安を感じています。授業実践を交流できる場があるといいのですが。

複数の小学校で外国語の指導をしています。児童と良い関係を築きながら授業を進めていきたいと思います。児童が楽しめる言語活動の具体や、学級担任との連携の方法を学びたいです。



本講座では、講義を通して言語習得や小学生の発達の段階を踏まえた指導を、また受講者同士の交流を通して指導改善の方向を学ぶことができます。総合教育センターで、オンラインで、小学校外国語教育を支えるネットワークを一緒に創りましょう。

【受講対象者】 小学校・義務教育学校(前期課程)・特別支援学校(小学部)において外国語科または外国語活動を指導している専科教員(講師、非常勤講師を含む)学級担任をしながら教科担任として複数学級を指導する教員も受講可

集合研修

講座番号 2123 G1

開催日:5月30日(月)
時 間:10:00~16:10
場 所:総合教育センター

- ①【講義】「小学校外国語教育の現状と在り方」
講師 中部学院大学 准教授 新井 謙司 氏
- ②【実践発表】「専科教員としての実践」
講師 県内実践者
- ③【実践交流】



オンライン研修

講座番号 2123 G2

開催日:6月6日(月)
時 間:13:30~16:30
場 所:勤務校

- ①【講義】「小学校外国語教育の現状と在り方」
講師 中部学院大学 准教授 新井 謙司 氏
- ②【実践交流】



自由参加(オンライン)
※ 参加方法は、上記研修講座
内で連絡します。
開催日:7月、12月予定
時 間:15:00~16:30
場 所:勤務校

- 【G1・G2受講者同士による実践交流】
- 研修後の授業実践
 - 教材教具の工夫
 - デジタル教科書の活用
 - 学習評価 等



- ・G1とG2の【講義】の内容は同一です。
- ・オンライン研修は交流を含むため、カメラ及びマイクが内蔵された端末を使用してください。また、受講環境にも配慮してください。

確認

発達障がい支援を学ぶ講座

発達障がい支援について、各分野の専門家による講義と演習を通して学びます。現在、気にかけている子について、アセスメントとその指導を考えていきましょう。

いずれの講座もオンライン研修で行います。

講座番号 2408

読みに困難さのある児童への指導

G1:基礎編

開催日:4~12月のいずれか1日

場 所:各自の学習環境
(オンライン研修)

対 象:幼こ保小義(前)特の教員

G2:実践編

開催日:8月23日(火)終日

場 所:勤務校(オンライン研修)

対 象:幼こ保小義(前)特の教員

明治学院大学 教授 海津 亜希子 氏

西東京市立住吉小学校 主幹教諭 栗原 光世 氏

通常の学級において、読みに困難さのある児童との関わりから生まれた「多層指導モデルMIM」。開発から関わる講師のお二人より、理論とその指導について学びます。「アセスメントと指導を連動させる」とは、「全体を指導しながら個のニーズを捉える」とは、実際にどのようにすることなのか。講師による模擬授業を通して学びます。

講座番号 2412

発達障がいのある子の性教育

開催日:10月19日(水)終日

場 所:勤務校

形 態:オンライン研修

対 象:幼こ保小中義高の教員

岐阜大学医学教育開発研究センター 講師 川上 ちひろ 氏

発達障がいのある子の「性」の問題を「関係」づくりという視点からみていきます。養護教諭として、岐阜県の公立小中学校に勤務経験もある専門家から、事例を基に学びます。

講座番号 2413

発達障がいのある子の「見る力」に対する指導

開催日:11月29日(火)終日

場 所:勤務校

形 態:オンライン研修

対 象:幼こ保小中義高の教員

大阪医科薬科大学LDセンター オプトメトリスト 奥村 智人 氏

発達障がいのある子には、「見えにくさ」によって起こる様々な問題を抱えている子がいます。「見る力」とは何か、「見る力」のアセスメントとその力を育てる指導について学びます。

講座番号 2414

発達障がいのある学生に対する支援の実際

開催日:9月27日(火)終日

場 所:勤務校

形 態:オンライン研修

対 象:幼こ保小中義高の教員

岐阜大学保健管理センター 准教授 堀田 亮 氏

高等教育機関における発達障がいのある学生に対する修学・学習支援、就労支援の実際について学びます。発達障がいのある子の「少し先」の支援を知ることを通して、「今」の支援について見直していきます。

確認

上の講座は、発達障がい支援担当教員養成事業(特別支援教育課)の選択講座を兼ねています。発達障がい支援担当教員養成事業の申込方法については、各市町村教育委員会を通じて各学校(園)に案内されますので、ご確認ください。

DXやICT活用に係る研修講座【セミナー】

DX（デジタル・トランスフォーメーション）による社会変革や、教育におけるICT活用など、Society5.0到来を見据え、未来を担う子供たちが必要な力を身に付けるため、本研修講座を通して、先進的なシステムや理論を学んだり、実技を通して体験的に技術を身に付けたりします。

講座番号 2511

開催日：G1:5/27(金)

G2:6/30(木) G3:7/22(金)

G4:8/2(火) G5:9/29(木)

時間：14:00～16:00

場所：勤務校(オンライン)

対象：小中義高特の教員

※G(回)ごとの申込みとなります。各Gの詳細は開催要項内のチラシをご覧ください。

アカデミックセミナー

『新しい社会におけるひとりひとりの学びの創造』

G1:名古屋大学 大谷 尚 氏・G2:岐阜大学 益子 典文 氏・G3:名古屋大学 坂本 将暢 氏
G4:岐阜大学 今井 亜湖 氏・G5:名古屋大学 柴田 好章 氏

令和の日本型学校教育の実現に向け、新しい時代における学校や教師による子供のための学びを考え、実践に生かす指導力を高めます。

講座番号 2508

開催日：7月8日(金)

時間：13:30～16:00

場所：

G1:総合教育センター(集合)

G2:勤務校(オンライン)

対象：小中義高特の教員

新 データの分析と教育への活用講座

～ビッグデータを授業に活用しよう～

経済産業省 中部経済産業局 講師

RESASの活用等、ビッグデータの分析や各種データの教育への活用のヒントを、専門講師から学びます。(※一部、演習を行います)

講座番号 2519

開催日：11月24日(木)

時間：13:45～16:15

場所：勤務校(オンライン)

対象：小中義高特の教員

新 児童生徒1人1台端末環境における
情報モラル教育
静岡大学 塩田 真吾 氏

GIGAスクール構想の実現に向け、児童生徒1人1人に端末整備された今の学校で必要不可欠な情報モラル教育の在り方について学びます。

講座番号 2510

開催日：11月30日(水)

時間：13:45～15:45

場所：勤務校(オンライン)

対象：幼小中義高特の教員

先端技術で実現する
個別最適な学びと教育の未来
スタディサプリ教育AI研究所 小宮山 利恵子 氏

教育データやICT機器の利活用がもたらす個別最適な学びと、未来の学校教育のビジョンについて学びます。

講座番号 2520

開催日：1月12日(木)

時間：13:45～16:15

場所：勤務校(オンライン)

対象：小中義高特の教員

新 新しい学びの時代における著作権教育講座
東京学芸大学 こども未来研究所 原口 直 氏

GIGAスクール構想の実現に向けた端末整備、オンライン授業の実施など、急激なICT環境の変化が起きた今の学校現場に必要な著作権教育について学びます。

確認

・2週間前には必ず実施要項を確認してください。オンラインで実施する講座については、各自で実技演習環境の準備が必要となる場合があります。

DXやICT活用に係る研修講座【演習】

DX（デジタル・トランスフォーメーション）による社会変革や、教育におけるICT活用など、Society5.0到来を見据え、未来を担う子供たちが必要な力を身に付けるため、本研修講座を通して、先進的なシステムや理論を学んだり、実技を通して体験的に技術を身に付けたりします。

講座番号 2505

G1:Webex Meetings

G2:Microsoft Forms

G3:MetaMoJiClassRoom

G4:iPad各種アプリ

G5:ロイロノート SCHOOL

場所:勤務校(オンライン・オンデマンド)

対象:小中義高特の教員

新 放課後学べる！ミニICT講座

ICT教育推進室 研修係

今さらきけないソフトの基本的な使い方から、使い慣れたソフトの新機能について、学校に居ながら、短時間で学びます。
(※この研修は、経年研修における「自己課題に応じた研修」とすることはできません。)

講座番号 2506

開催日:9月14日(水)

場所:総合教育センター(集合)

対象:小中義高特の教員

新 みんなつながる！オンライン配信講座

ICT教育推進室 研修係

新たな学び方であるオンライン学習支援について、WEB会議ソフトの利活用方法や配信のコツを、実技演習を通して学びます。

講座番号 2507

開催日:

G1:6月3日(金)

G2:10月21日(金)

場所:総合教育センター(集合)

対象:幼小中義高特の教員

新 ダイナミックプレゼンテーション講座

ICT教育推進室 研修係

プレゼンテーションソフトの他、各種サービスやソフトを連携して、1人1台端末環境及びオンライン配信における魅力的なプレゼンテーションについて、実技演習を通して学びます。

講座番号 2509

開催日:10/13(木)

場所:総合教育センター(集合)

対象:小中義高特の教員

プログラミングやデザイン思考による課題解決学習講座

中村 親也 氏

チームビルディングを通して授業の中で児童・生徒の創造力を高め、センサータグやビジュアルプログラミングを活用してアイデアを創出するための手法を学びます。

講座番号

2502(小中義)各端末×各ツール

2503(高)MetaMoJiClassRoom

2504(特)iPadと特別支援

開催日:4月~11月

場所:総合教育センター(集合)

勤務校(オンライン)

ICT活用実践研修(校種・端末種・ツール別)

ICT教育推進室 研修係

1人1台端末プラットフォーム(Microsoft365・iPad・Google workspace)や学習支援ツール(SKYMENU Class・ロイロノートSCHOOL・ミライシード・MetaMoJiClassRoom)ごとの演習を通して、実践的に授業におけるICT活用方法を身に付けます。

確認

・2週間前には必ず実施要項を確認してください。オンラインで実施する講座については、各自で実技演習環境の準備が必要となる場合があります。

防災教育スペシャリスト養成研修

防災教育や、様々な災害時の対応について、校種や災害の種類、現在の勤務校での課題や新たな情報の理解を軸に、管理職としての視点から捉え、教職員の学校安全の意識向上を図ることを目指す方々にぜひ受講していただきたい研修です。

防災教育スペシャリスト養成研修1 講座番号2311~2315

G1:希望者 G2:新任教頭研修選択講座

開催日:2311(幼)8月22日(月)PM

2312(小)6月24日(金)、10月6日(木)PM

2313(中)6月9日(木)、10月12日(水)PM

2314(高)6月23日(木)、10月19日(水)PM

2315(特)6月16日(木)、10月26日(水)PM

場所:勤務校(オンライン研修)

対象:校長、副校長、教頭、担当者

子どもの命を守り切る防災教育

清流の国ぎふ防災・減災センター

特任准教授 村岡 治道 氏

2回の研修を通して、想定外の自然災害の発生時の避難の仕方や安全対策、命を守る訓練の在り方について学びます。それぞれの校種に応じた具体の演習を行います。

防災教育スペシャリスト養成研修2 講座番号2316

G1:希望者

G2:新任教頭研修選択講座

開催日:8月1日(月)PM

場所:総合教育センター

対象:校長、副校長、教頭、担当者

関係機関と連携した災害時の学校の対応の在り方

清流の国ぎふ防災・減災センター特任准教授 村岡 治道 氏

岐阜地方気象台 気象情報官 岸 伸恵 氏

気象情報等から関係機関との連携の中で、どのような判断・対応が考えられるかを検討し、学校版タイムラインの作成方法を学びます。実際に起こりうる災害の想定で、学校全体や担当者としての動きの具体を考える演習を行います。

防災教育スペシャリスト養成研修3 講座番号2317

G1:希望者

G2:新任教頭研修選択講座

開催日:11月7日(月)PM

場所:勤務校(オンライン研修)

対象:校長、副校長、教頭、担当者

災害発生時の対応～大川小学校事故に学ぶ～

宮城県東松島市立矢本第一中学校校長 平塚 真一郎 氏

大川小学校の事例をもとに、災害発生時の対応や遺族等の立場に立った事故後の対応の在り方を学びます。災害発生時及び災害発生後の学校の対応の具体はもとより、遺族の立場からもお話をいただきます。

防災教育スペシャリスト養成研修4 講座番号2318

G1:希望者

G2:新任教頭研修選択講座

開催日:12月6日(火)PM

場所:勤務校(オンライン研修)

対象:校長、副校長、教頭、担当者

危機管理マニュアルの見直し・改善

山形大学大学院 教授 村山 良之 氏

学校周辺の地形やハザードマップ等の情報から、危機管理マニュアルの課題点を明らかにし、見直し・改善に資する視点を学びます。危機管理マニュアルの見直し・改善のポイントや、地形、ハザードマップの活用演習、気象条件等に対応した危機管理マニュアル運用の演習等を行う予定です。

確認

- ・すべて講座内容が違うものですので、すべて受講いただいても構いません。
- ・事前課題や当日の持ち物がある場合があります。2週間前には必ず開催要項を確認し、準備をしてください。

スクールリーダー養成研修

岐阜大学教職大学院との協働により「教育法規」・「危機管理」・「カリキュラム・マネジメント」・「教育の今日的課題（いじめ、ICT教育、特別支援教育）」等に係る講話及び演習を通して、スクールリーダーとしての資質向上を図ります。

【受講対象者】

【小学校・中学校・義務教育学校】

■ 所属長が認めた下記のもの

主幹教諭・指導教諭・教務主任・生徒指導主事・学年主任
養護教諭・栄養教諭・事務職員
市町村教育委員会指導主事・岐阜県教育委員会指導主事等

【高等学校・特別支援学校】

■ 希望がある下記のもの

教務主任・生徒指導主事・進路指導主事

※講師の所属は令和3年度のもので

講座番号 3001 ユニットA

開催日：7月21日（木）
時間：9:30～16:30
場所：勤務校
形態：オンライン研修

- ① 【教育法規】講師：岐阜聖徳学園大学教授 篠原 清昭 氏
教職員のコンプライアンス意識向上のための法令及び具体的事例
- ② 【教育改革】講師：岐阜大学教授 益子 典文 氏
ICTを活用した教育の推進・授業デザインの在り方
- ③ 【組織マネジメント】講師：飛騨市教育委員会学校教育課長 中村 裕幸 氏
学校の課題分析・社会に開かれた教育課程の実現
- ④ 【リーダーシップ論】講師：静岡大学教授 武井 敦史 氏
人材育成の観点からみる管理職の在り方やリーダーシップ

講座番号 3002 ユニットB

開催日：8月3日（水）
時間：9:30～16:30
場所：勤務校
形態：オンライン研修

- ① 【学校評価】講師：岐阜大学教授 棚野 勝文 氏
PDCAサイクルを機能させたグランドデザインやマネジメントの具体
- ② 【学校の危機管理】講師：岐阜大学助教 芥川 祐征 氏
学校の防災体制や危機管理マニュアルの整備と防災教育
- ③ 【学校の事件・事故】講師：弁護士 小森 正悟 氏
法的根拠に基づく、いじめの未然防止や早期発見・早期対応等
- ④ 【地域との連携・協働】講師：岐阜大学教授 益川 浩一 氏
地域と連携した学校づくり、コミュニティ・スクールの取組

講座番号 3003 ユニットC

開催日：8月19日（金）
時間：9:30～16:30
場所：勤務校
形態：オンライン研修

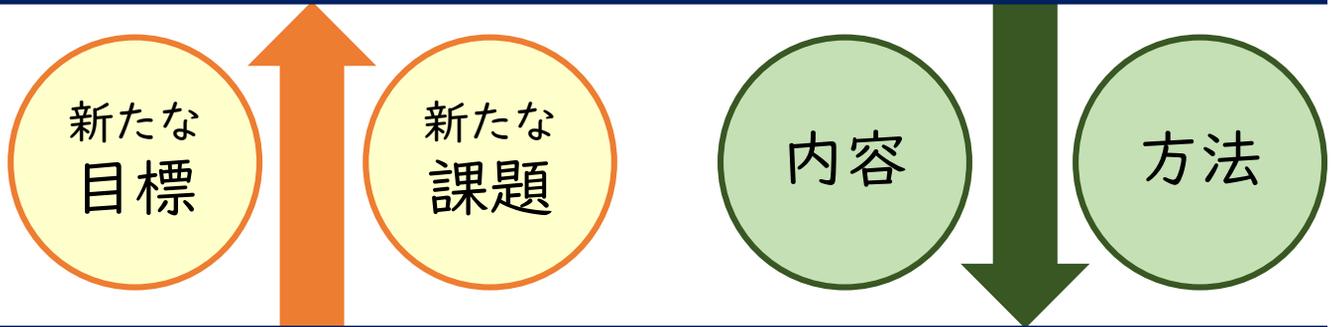
- ① 【教育の今日的課題】講師：岐阜大学准教授 吉澤 寛之 氏
教職員のメンタルヘルス、不祥事防止のための校内体制
- ② 【カリキュラム・マネジメント論】講師：岐阜大学准教授 長倉 守 氏
学習指導要領の趣旨を踏まえたカリキュラム・マネジメントの在り方
- ③ 【授業開発論】講師：岐阜大学准教授 長谷川 哲也 氏
学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善や学力向上
- ④ 【インクルーシブ教育】講師：岐阜大学教授 平澤 紀子 氏
障がいのある児童生徒への合理的配慮の在り方及び校内支援体制

確認

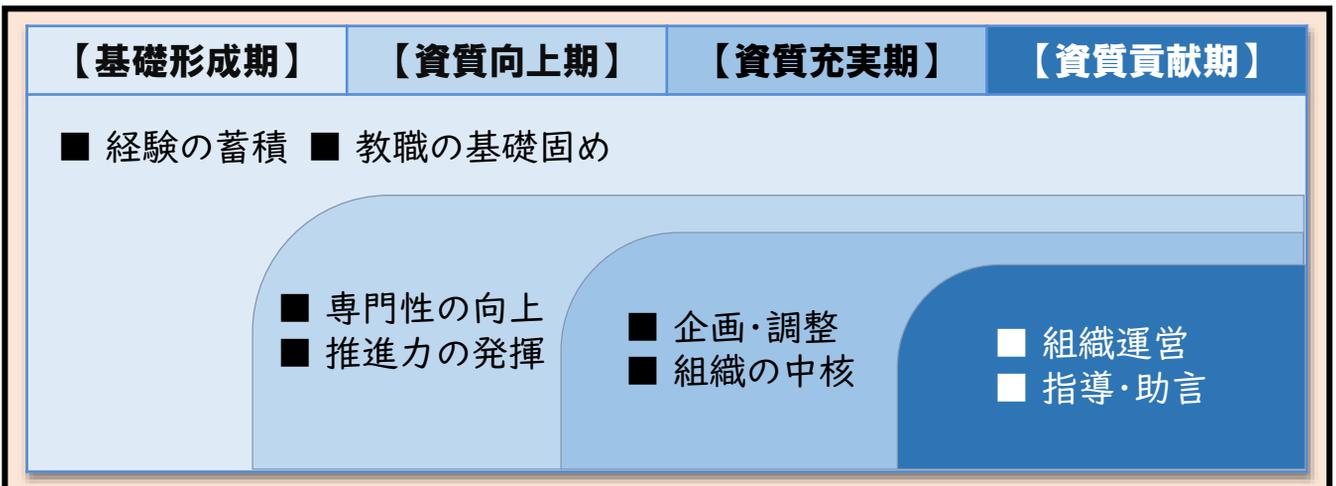
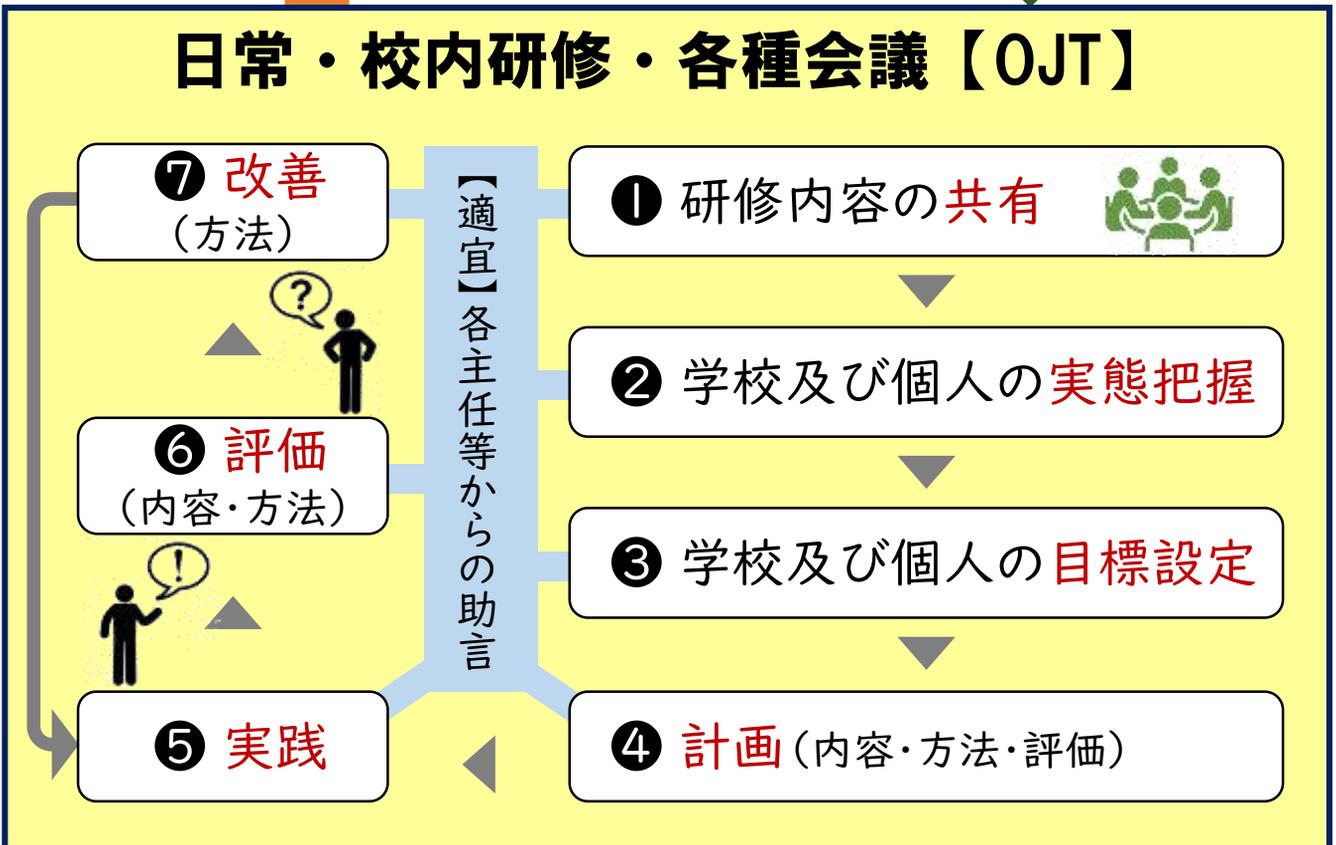
本講座の受講を通して、岐阜大学科目として単位認定を希望する方を対象に、【科目等履修制度】が適用されます。詳しくは、「岐阜大学教職大学院HP」でご確認ください。

「岐阜大学教職大学院HP」 <http://www.ed.gifu-u.ac.jp/kyoshoku/>

センター研修等【Off-JT】



日常・校内研修・各種会議【OJT】



相談先：教育研修課 研修企画係 (058-271-3450)

どんな事業？

教職員が日々の業務で様々な対応に追われる中でも、自己研鑽のため、ライフワークバランスを保ち、学び続けるモチベーションを維持できるよう、他の教職員と協働した自主的な活動に対して最大10万円、助成します！

「こんな研究をしてみたい!!」という方は是非！

「校種や教科を超えて、ICT活用研究をしたい！」

「小中高特の教職員で連携し、教科目標を実現する授業づくりを研究したい！」

「地元企業や自治体から講師を招いて、地域課題を解決するプログラムを開発したい！」

〈申込上の注意点〉

- ・公務外の活動が対象 ← 勤務時間中の活動は対象外となります。
- ・採用6年目までの教職員2名を含む、3名から10名程度のグループが対象

令和3年度には、こんな研究テーマに取り組みました!!

- ・地域に愛される木材加工品の商品開発と技術力向上
- ・安全な伐木方法の技術及び指導力の習得
- ・一人一人の児童生徒に合わせた教材作り
- ・みんなが幸せになるための働き方
- ・効果的な動画配信の研究
- ・進化型学校組織の開発 など

活動内容

- ・外部機関の講習会に参加
- ・実績のある講師を招いて研究会を開く
- ・先進的な研究をしている学校の研究会に参加する
- ・調査活動、教科書の分析研究、教材の開発・作成 など

令和4年度 スケジュール

申請期間：4/1～4/30

決定通知：5月下旬

活動期間：6/1～1/31

成果報告：2月中旬

★申請方法など、制度の詳細は、岐阜県総合教育センターのホームページから、岐阜県自ら学ぶ教職員応援事業補助金交付要綱を参照してください。

★問い合わせ先
岐阜県教育委員会
教育研修課 研修企画係
058-271-3450



講師として勤務する皆さん、明日からの実践に生かします！！

岐阜県の小・中・義務教育学校の教師を目指す皆さんのための



清流の国ぎふ教師養成塾

目的

岐阜県の公立小学校・中学校の教員を目指す大学生や常勤講師・非常勤講師が、経験豊かな指導者のもと、講義・演習などの実践的な講座を通して、教員としての心構えや授業づくりの基礎などを身に付けることを目的としています。

開催日

同時双方向型オンライン研修 : 令和4年8月1日(月)、12月27日(火)
 オンデマンド型オンライン研修 : 令和4年6月27日(月)～8月12日(金)
 令和5年2月20日(月)～3月20日(月)

受講方法

オンライン研修(勤務校)

- オンデマンド型オンライン研修
 - ～配信動画(YouTube)のテーマ例～
 - ・どの子ども主体的に学ぶ授業づくり(国語)
 - ・どの子ども主体的に学ぶ授業づくり(算数・数学)
 - ・子どもの意欲を引き出す授業 ー授業のアイデア 外国語編ー
 - ・一人一人が位置付く学級経営
 - ・誰もが輝く特別支援教育
 - ・ICT活用と情報モラルの指導及び個人情報の管理について
 - ・いじめ対応について
 - ・学校現場における人間関係づくり
 - ～コーチングスキルを活用した保護者対応～
 - ・道徳の授業づくりのポイントとは
 - ・人権教育について考える
 - ・信頼される教師とは



※開催日当日は上記のテーマのうち、いずれかを同時双方向型オンライン研修にて実施します。それ以外のテーマの内容は、動画配信します。
 ※講座内容・講座数は変更することがあります。

内容

申込方法

岐阜県総合教育センターHPの研修申込システムから個人のID・パスワードでログインし、講座番号「3004」清流の国ぎふ教師養成塾に申し込んでください。



教師養成塾
QRJ-T

詳しくは、講座番号「3004」教師養成塾の開催要項へ

日々の教育実践や研究・研修活動に関する資料で、困っている方はいませんか？



📖 利用について

・ 開室時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始は休室、臨時休室有り)

・ 貸出資料

図書5冊、雑誌（バックナンバー）5冊の計10冊まで3週間貸出可
(雑誌最新号、教科書、研究紀要等は貸出不可、閲覧可)



📖 貸出カードの発行

- ・ 本人確認ができる免許証等が必要

📖 当室で借りた資料の返却

- ・ 総合教育センター第1棟1階北側の正面玄関脇にある「時間外返却ポスト」に返却可能（夜間、休日）
- ・ 岐阜市内の小・中学校からは、メール便（144）で返却可能
- ・ 遠方の方は、近くの市町村図書館で返却可能（貸出の際に返却専用バックを渡します。）

📖 資料の検索

- ・ 所蔵資料を総合教育センターHPで検索可能

📖 レファレンスサービス

- ・ 所蔵資料を使って、調べものをサポート
※直接来室のほか、電話やメールでも対応可能

📖 場所、問合せ先

- ・ 総合教育センター第1棟3階 図書・教育資料室
TEL：058-271-3404（直通） E-mail：cl7781@pref.gifu.lg.jp



授業があって開室時間内に利用できない…

【市町村図書館を通じた貸出サービス】

そんな時は、近くの市町村図書館の窓口にご相談してください。
市町村図書館から依頼を受けた資料を、岐阜県図書館を経由してその図書館に貸出します。申込みをした図書館で貸出・返却することができます。
※申込方法及び返却方法はそれぞれの市町村図書館で異なりますので、事前に確認してください。

🌸各学校・教育機関等において作成された教育実践資料等で、共有できるものがありましたら、ぜひ寄贈してください。大切に保存・活用します。

**先生方をサポートします！
困っていること、悩んでいることなど
気軽に相談してください。**



✚ 教育支援相談について ✚

1 先生方自身の悩みについてサポートします。

普段、職場で困っていることや悩んでいること、育休からの復帰にあたり心配なことなどについて相談することができます。

2 電話相談と来室相談があります。

✚ 電話相談の場合 058-271-3450
「内線34」と伝えてください。（匿名でも結構です）

✚ 来室相談の場合 直接、総合教育センター1棟2階 教育支援相談室へ
（希望される方は、事前に電話で予約してください。）

3 教育支援相談室には、相談員が常駐しています。

月～金曜日 9:00～17:00 （祝日・年末年始を除く）

✚ 自分自身に関する悩み・不安について

仕事への意識や意欲、精神面、健康面、今後の進退 等

✚ 職場の人間関係に関する悩みについて

同僚との関係、上司や指導者との関係、保護者や地域の方との関係 等

✚ 指導上の悩み・不安について

児童生徒理解、学習指導、生徒指導、
学級経営、進路指導、部活動指導 等

✚ 家庭の悩み・不安について

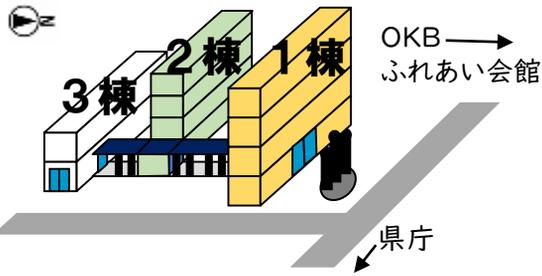
家族、子育て、介護 等

✚ その他、困っていること



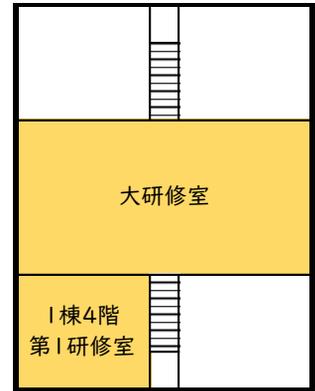
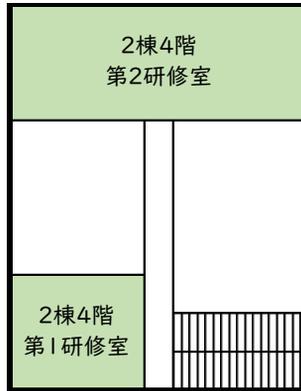
※上記内容の問合せ先：岐阜県教育委員会 教育研修課

058-271-3450 「内線34」

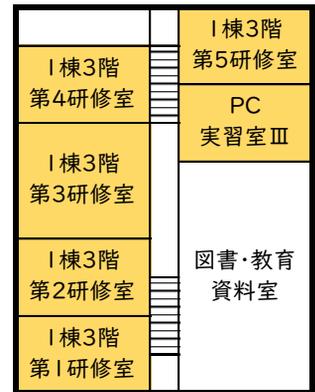
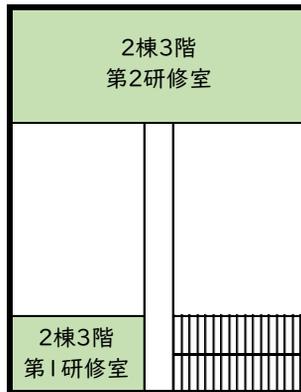


2棟

1棟

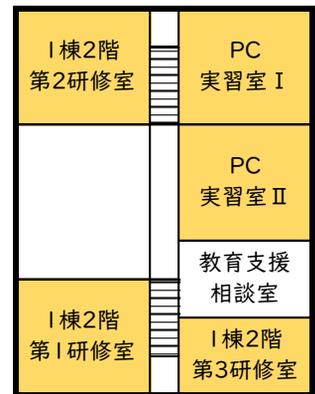


4階



3階

3棟



2階



1階



岐阜県総合教育センター駐車場



臨時駐車場



- 駐車場内は十分減速しましょう。
 - 駐車禁止スペースは使用しないようにしましょう。
 - 車内に貴重品を置かないようにしましょう。
 - 満車時は、臨時駐車場（県庁舎職員駐車場南-6）を利用してください。
- ※ 徒歩約15分ほどかかります。



岐阜県教育委員会 教育研修課

〒500-8384 岐阜市藪田南5-9-1

【TEL】 058-271-3450

【FAX】 058-276-6774

【HP】 : <https://www.gifu-net.ed.jp/ggec/>

